

取扱説明書

HITACHI
— 品質を大切にする (技術の日立) —

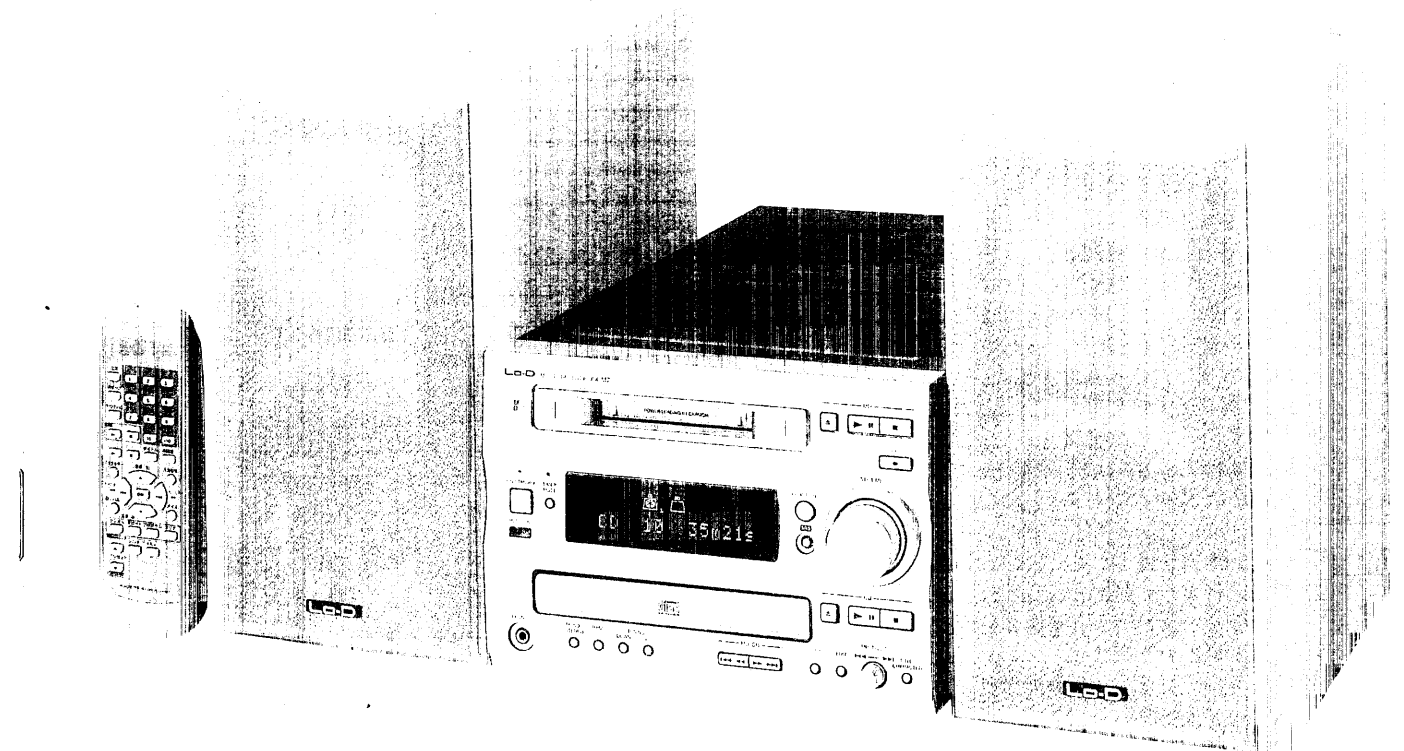
日立MD/CDステレオシステム **AX-M7**

このたびは、日立MD/CDステレオシステムをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は保証書、ご相談窓口一覧表と共にいつでも見られる所に大切に保管してください。

Lo-D

**Mini
Disc**

**COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO**




お客様メモ：サービスを依頼される時、お役に立ちます。

購入店名： _____ 電話 _____

ご購入年月日：平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日

—メモ—

 株式会社 日立製作所

〒105-8430 東京都港区西新橋2-15-12
TEL (03)3502-2111

QR41455

目次



はじめに	安全上のご注意(必ずお読みください).....	3~6
	一般的なご注意.....	7
	MD(ミニディスク)について.....	8, 9
	コンパクトディスクについて.....	10
	接続のしかた(D-R100と使用する場合).....	11
	各部の名称(AX-M7本体).....	12
	各部の名称(リモコン).....	13, 14
	時計を合わせる.....	15
	操作をする前に.....	16
	ラジオ放送と録音	ラジオを聴く.....
放送局をプリセットする.....		18
放送局に名前をつける.....		19
ラジオからMDへ録音する.....		20, 21
ラジオからMDへタイマー録音する.....		22~24
CD再生と録音	CDを再生する.....	25, 26
	CDをプログラム再生する(リモコン操作のみ).....	27
	CDをランダム再生する(リモコン操作のみ).....	28
	CDを繰り返して再生する(リモコン操作のみ).....	29
	CDからMDへ録音する.....	30, 31
好きな曲だけを選んでCDからMDへ録音する.....	32, 33	
MD再生と編集	MDを再生する.....	34, 35
	MDをプログラム再生する(リモコン操作のみ).....	36
	MDをランダム再生する(リモコン操作のみ).....	37
	MDを繰り返して再生する(リモコン操作のみ).....	37
	MDに名前をつける.....	38
	MDの曲に名前をつける.....	39
	MDの名前を消去する.....	40
	MDの曲の名前を消去する.....	41
	MDの名前と曲の名前を全て消去する.....	42
	MDに録音した曲を消す.....	43
	• どれか一つの曲を消去するには.....	43
	• 曲の一部を消去するには.....	44
	• 全ての曲を消去するには.....	45
	MDに録音した曲を移動する.....	46
	MDに録音した曲を並べ替える.....	47
MDに録音した曲を分割する.....	48	
MDに録音した曲をつなげる.....	49	
直前のMD編集を取り消す.....	50	
その他	ライン入力を聴く.....	51
	音量/音質を調節する.....	52
	イコライザーメニューを選ぶ(リモコン操作のみ).....	52
	音楽で目覚めるには.....	53~55
	オートファンクション機能/表示の明るさ調節(リモコン操作のみ).....	55
	スリープタイマー.....	56
	主な仕様.....	57
	故障かな?と考える前に.....	58
	保証とアフターサービス(必ずお読みください).....	59
	著作権について.....	60

安全上のご注意(必ずお読みください)




本機を正しく安全にご使用いただくために

<ご使用の前に>

絵表示について この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。




	警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

-  △記号は注意(警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。
-  ⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。
-  ●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)が描かれています。

警告

■ 万一異常が発生したら

<p>● 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。</p>	<p>● 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>
 <p>プラグをコンセントから抜け</p>	 <p>プラグをコンセントから抜け</p>
<p>● 万一、機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。</p>	 <p>プラグをコンセントから抜け</p>

安全上のご注意(つづき)

警告

■表示以外の電圧で使用しないでください。

●表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

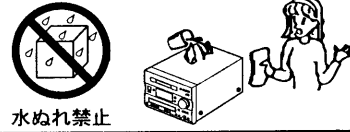


●本機を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災の原因となります。



■液体の入った容器などを置かないでください。

●本機の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



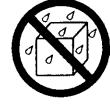
■風呂場などでは使用しないでください。

●風呂場やシャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水場での使用禁止

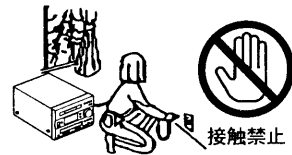
●本機に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



水ぬれ禁止

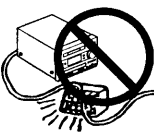
■雷が鳴り出したら

●雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。



■電源コードを大切に

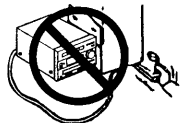
●電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



●電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



●電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。



●電源プラグの刃および刃の付近に埃や金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■異物を入れないでください。

●本機の通風孔、ディスク挿入口などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、押し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

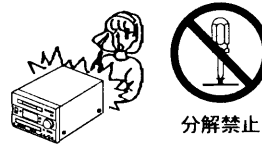


●万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



■ふたをはずしたり、改造しないでください。

●本機の裏ふた、キャビネット、カバーは絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。



●本機を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

安全上のご注意(つづき)

警告

■電池について

●乾電池は充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。



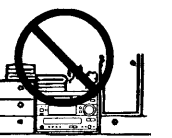
注意

■ご使用になる場所について

●ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。



●本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることもあります。本機には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの裏や底部などに通風孔があけてあります。次のような使い方はしないでください。



本機をお向けや横倒し、逆さまにする。本機を押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

●調理場や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となります。



●本機を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、本機の天面から10cm以上、背面から10cm以上のすきまを空けてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



●直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



■電源コードを粗雑に扱わないでください。

●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となります。



●濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



●電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



●電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり埃が付着して火災の原因となることがあります。また電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



●電源プラグは根元まで差し込んでみがあるコンセントには接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気店にコンセントの交換を依頼してください。



■持ち運ぶときのご注意

●移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、アンテナ線など外部の接続コードを外してから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



■アンテナを立てるとき

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

●送配電線から離れた場所に設置してください。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。



安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意

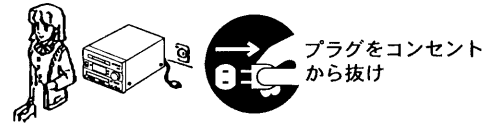
■電池の使用は

- 電池を機器内に進入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。
- 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池を古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となります。
- 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。



■長時間ご使用にならないとき

- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。



■接続について

- オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となります。



■特に小さなお子様のいるご家庭では

- 本機に乗ったりしないでください。特に小さなお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりして、けがの原因となります。



- お子様ディスクを挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因となります。



指を挟まれないよう注意

■音量について

- ヘッドホンをご使用になるときは音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となります。



■レーザー光源について

- レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



■ディスク使用時のご注意

- ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは、使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となります。



■日頃のお手入れについて

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となります。



プラグをコンセントから抜け

- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や呼称の原因となります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用などについては販売店などにご相談ください。



一般的なご注意

使用上のご注意

移動したり持ち運ぶときは

本機を移動したり持ち運ぶときはCDトレイ開閉ボタン、MD取出しボタンを押して、CD、MDディスクを取り出した後、CDトレイを閉めてください。



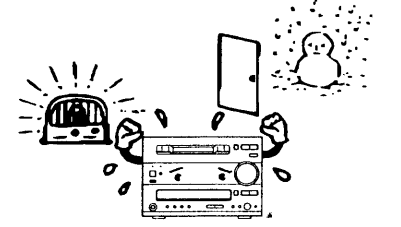
衝撃を与えないでください

落としたり、物にあてたりして、強い衝撃を与えないでください。故障したり、性能が十分発揮できないことがあります。



温度差のある所への移動は禁物

寒い所から急に暖かい所への移動はさけてください。故障の原因となります。



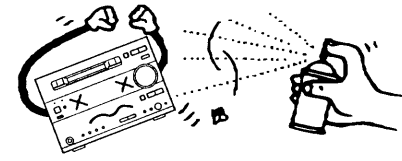
本機にはミュート回路が組まれており、電源を入れてから安定した動作状態に達するまで2~4秒かかります。

MDまたはCDを再生中に本機に衝撃を与えたり、揺らしたりするとノイズが発生することがあります。これは故障ではありません。

長い間お使いにならないときはCD、MDディスクを取出しておいてください。

お手入れについて

ケースやパネルに殺虫剤、ベンジン、シンナー、アルコールなどをつけたりしますと、塗装がはがれたり変色することがあります。表面の汚れは柔らかい布でふいてください。



結露について

冷えている本機を暖かい部屋へ急に移すとCDプレーヤーやMDプレーヤーの信号を読み取るピックアップレンズに水滴がついて(結露現象)、正しく動作しないことがあります。このような場合には1~2時間待ってから使用してください。



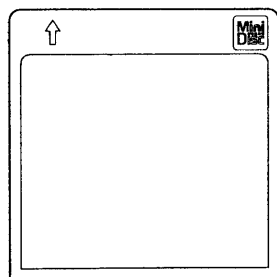
超音波加湿器の使用について

本機の周囲で超音波加湿器の使用はさけてください。本機の周囲で超音波加湿器を使用しますと、加湿器に使用する水の水质によっては、水中にとけているカルシウムなどが空気中に飛散し、本機のレンズやセンサーの表面に白い粉として付着し、正常な動作をしなくなることがあります。

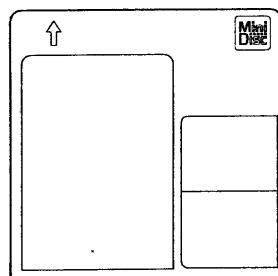
本機内のレンズやセンサーの表面にゴミや浮遊物などが付着いたしますと、正確な動作をしなくなることがあります。設置場所により定期的な清掃が必要になります。詳細は、サービスマンにご相談ください。

MD (ミニディスク) について

1 MDには2つのタイプがあります。

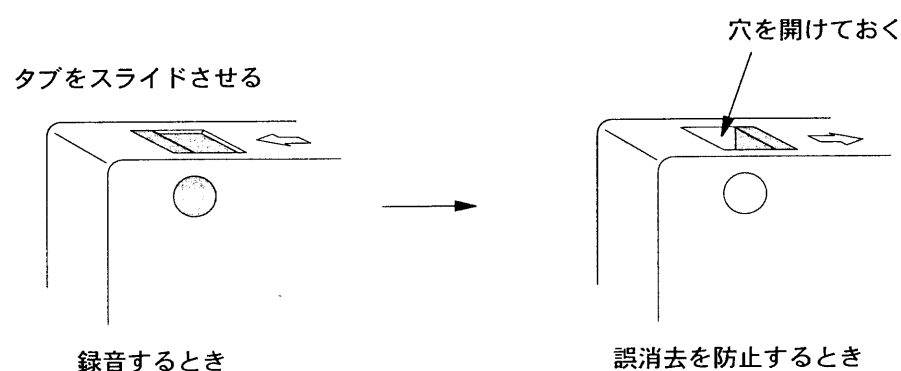


再生専用

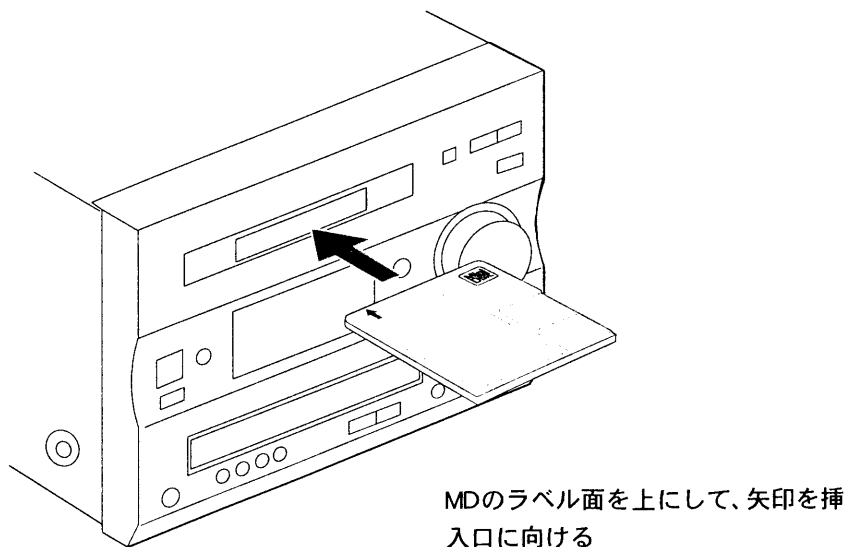


録音可能

2 録音した内容を保護するには



3 MDの入れかた

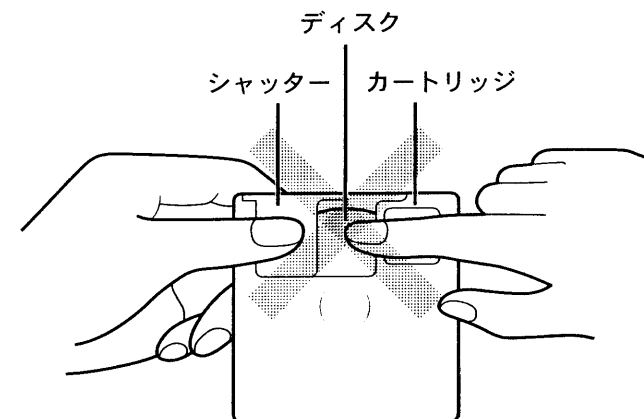


4 MDの取扱いと保管

MD自体はカートリッジに収納されていますので、ほこり・キズ・指紋などがつきにくく手軽に取扱えるようになっています。ただし、カートリッジのすき間から入る砂ほこりやカートリッジのよごれやそりなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことに注意してください。

ディスクに直接触れない

- シャッターを手で開けて、ディスクに直接触れないでください。
- シャッターは無理に開けるとこわれます。



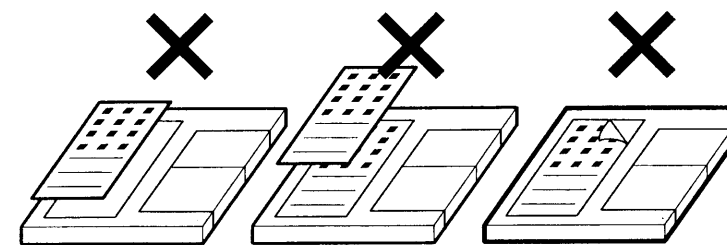
MDの保管について

必ず専用ケースに入れて保管してください。
直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所や湿度の高い所には置かないでください。
また、砂浜などカートリッジの中に砂やほこりが入りやすい場所には放置しないでください。

5 MDにラベルを貼り付けるときのご注意

MDカートリッジにラベルを貼り付けるときは、必ず次のことをお守りください。
正しく貼り付けないと、MDが内部につまって取出せなくなることがあります。

- ラベルは指定の場所(エリア内)に正しく貼ってください。
(指定エリア以外には貼り付けしないでください。)
- ラベルを重ねて貼り付けしないでください。
- ラベルがめくれたり、浮いたりしているときは、新しいラベルに貼り換えて使用してください。



6 MDのお手入れ

カートリッジ表面についたほこりやゴミを乾いた柔らかい布でふきとってください。

シンナーやベンジン、スプレー静電防止剤などは絶対に使用しないでください。

コンパクトディスクについて



本機のCDプレーヤーで演奏できるディスクは、左記のマークがついているものです。

- ① 右手で左右を持ち、左手で上下を持ってフタを開けます。
- ② センターホルダーを押さえながらディスクを持ち上げます。
- ③ ディスクの縁を持ち、表面に触れないように扱ってください。

■ディスクについてのご注意

- コンパクトディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけると、コンパクトディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。
- ディスクレーベル面にCDのマークが入ったものなど、JIS規格に合致したものをご使用ください。
- ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因となることがあります。



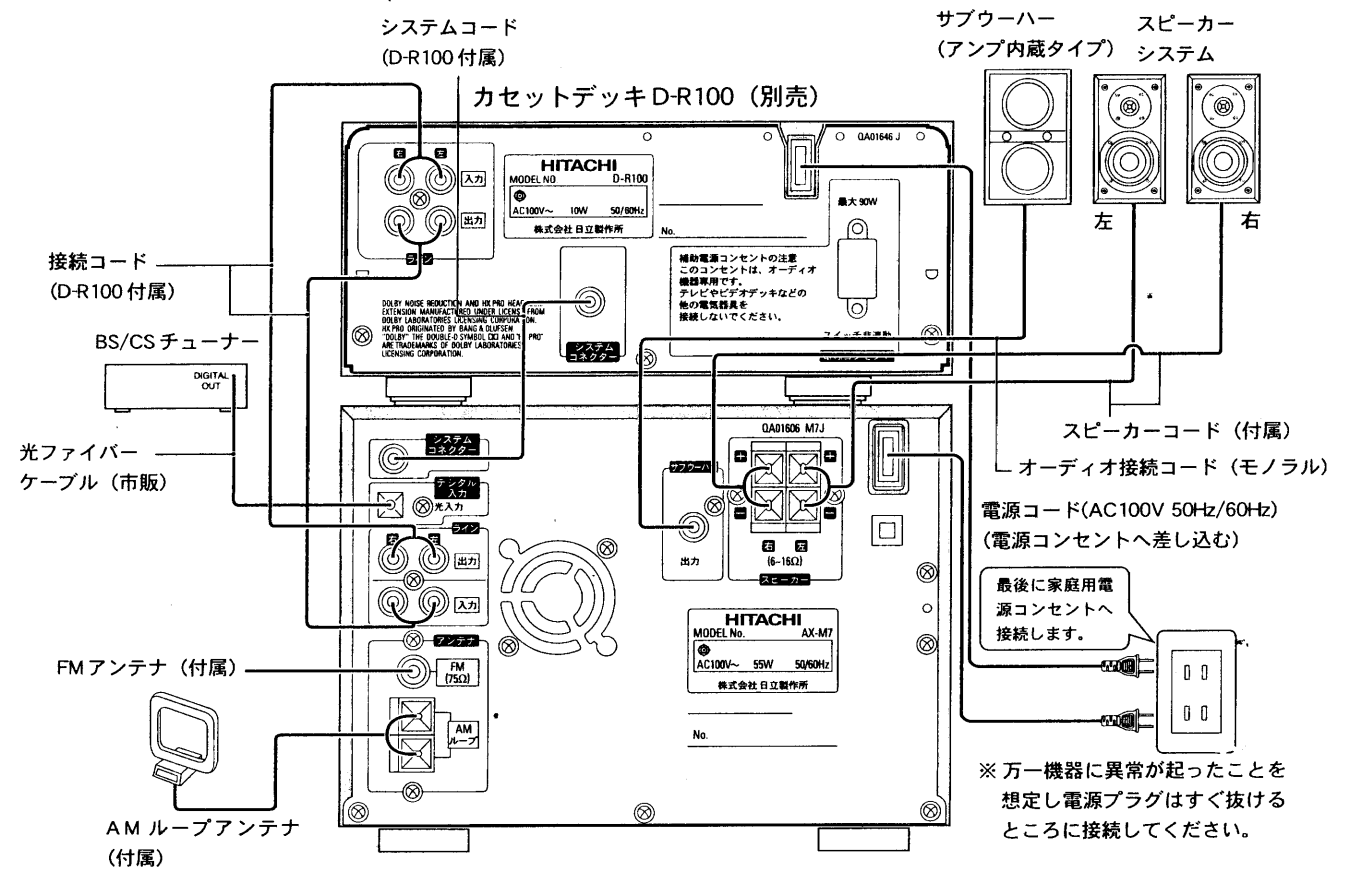
取り扱いについて

- | | | |
|---|--|--|
| ●指紋、油、ゴミなどをつけないでください。汚れた場合は、乾いた柔らかい布で内側から外側に向けてふいてください。
 | ●熱を加えないでください。
 | ●曲げたりしないでください。
 |
| ●表面に傷をつけないように、特にケースからの出し入れには注意してください。
 | ●中心の穴を大きくしないでください。
 | ●レーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書かないでください。
 |
| ●ベンジン、シンナー、水、レコードスプレー、静電防止剤、シリコンクロスなどでふかないでください。
 | ●屋外などの寒い場所から急に暖かい場所へ移すと、表面に水滴がついて演奏できないことがあります。このときは、乾いた柔らかい布で水滴をふいて乾燥させてから使用してください。なお、水滴はヘアードライヤー等で乾かさなでください。
 | |

保管について

- 長期間本機を使用しないときは、必ずディスクを本機から取り出してください。
- ほこり、傷、変形などを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 次のような場所には置かないでください。ディスクに反りなどが生じて、演奏できなくなることがあります。
 1. 直射日光が長時間あたるところ。
 2. 湿気、ほこりなどが多いところ。
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ。

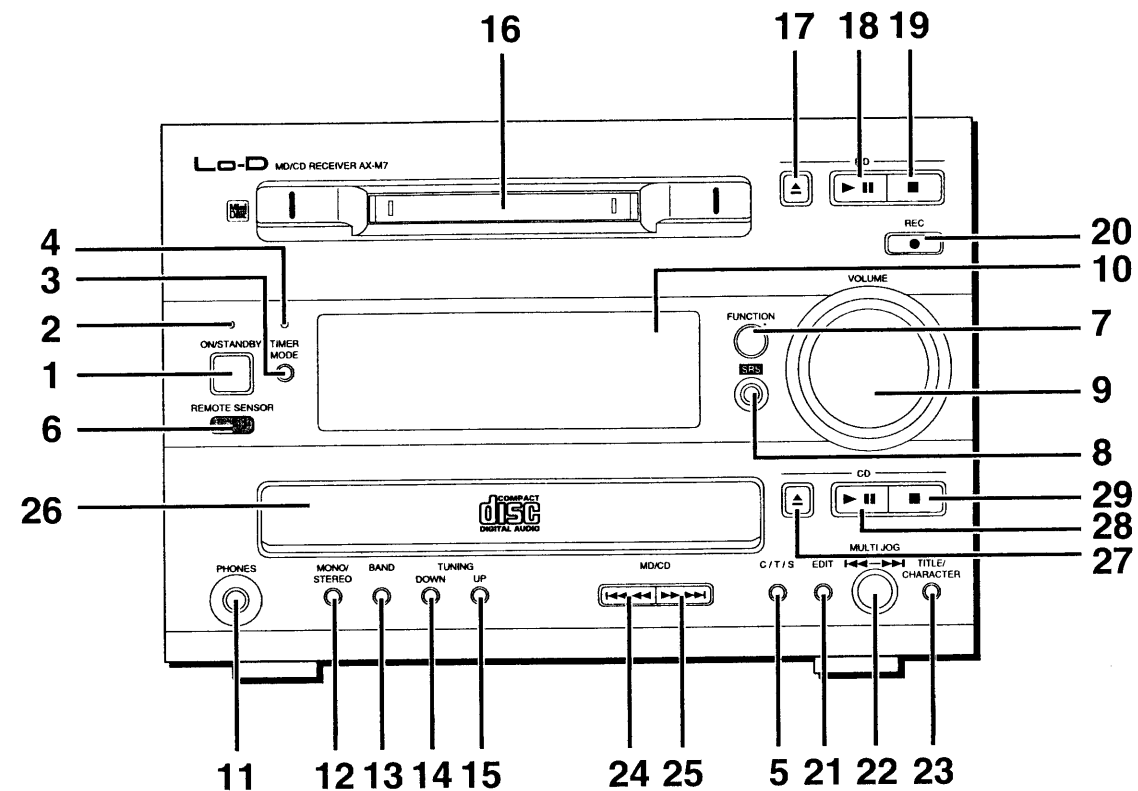
接続のしかた (D-R100と使用する場合)



注意

- 本機をテレビやその他のオーディオ機器の近くに設置すると、雑音が生じることがあります。その場合は、機器や接続コードの位置を変えてみてください。
- 接続コード(ピンプラグコード)を電源コードのそばに置くと、ハム雑音などのノイズが発生することがあります。
- 本機のスピーカシステムは防磁設計となっており、テレビとの近接使用が可能です。設置のしかたによっては色ムラが生じる場合があります。その場合はスピーカーを離してご使用ください。

各部の名称(AX-M7本体)



総合操作部

- 1 ON/STANDBY(電源オン/スタンバイ)ボタン
- 2 ON/STANDBY(電源オン/スタンバイ)インジケータ
- 3 TIMER MODE(タイマーモード切り換え)ボタン
- 4 TIMER MODE(タイマーモード)インジケータ
- 5 C/T/S(時計合わせ)ボタン
- 6 リモコン受光部
- 7 FUNCTION (ファンクション) ボタン
- 8 SRS(シンクロ録音) ボタン
- 9 VOLUME (音量調節)つまみ
- 10 表示窓
- 11 ヘッドホンジャック

チューナー部

- 12 MONO/STEREO(モノ/ステレオ切り換え)ボタン
- 13 BAND (バンド切り換え)ボタン
- 14 TUNING DOWN(選局ダウン)ボタン
- 15 TUNING UP(選局アップ)ボタン

MDプレーヤー部

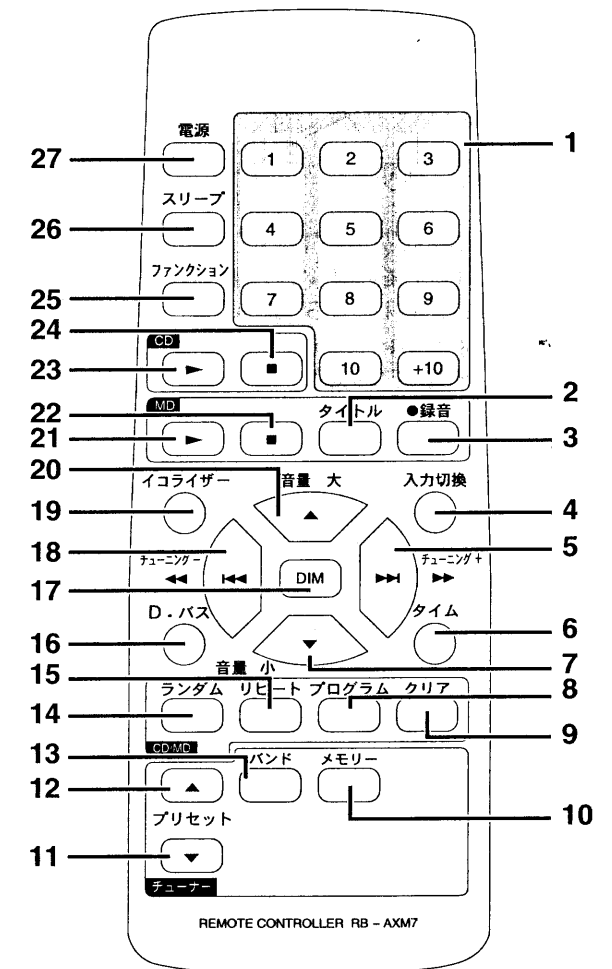
- 16 MD挿入口
- 17 MD取出しボタン(▲)
- 18 再生/一時停止ボタン(▶||)
- 19 停止ボタン(■)
- 20 REC(録音)ボタン(●)
- 21 EDIT (編集)ボタン
- 22 MULTI JOG(マルチジョグ)つまみ
- 23 TITLE/CHARACTER(タイトル/文字選択)ボタン
- 24 MD/CD逆方向サーチボタン(◀◀◀◀)
- 25 MD/CD順方向サーチボタン(▶▶▶▶)

CDプレーヤー部

- 26 CDトレイ
- 27 CDトレイ開閉ボタン(▲)
- 28 再生/一時停止ボタン(▶||)
- 29 停止ボタン(■)

各部の名称(リモコン)

- 1 テンキー(1~10、+10)
- 2 タイトルボタン
- 3 録音ボタン(●)
- 4 入力切り換えボタン
- 5 CD/MD使用時: 順方向スキップ/サーチボタン(▶▶▶▶)
チューナー使用時: チューニング+(選局プラス)ボタン
- 6 タイムボタン
- 7 音量調節ボタン(小)(▼)
- 8 プログラムボタン
- 9 クリアボタン
- 10 メモリーボタン
- 11 プリセットボタン(ダウン)(▼)
- 12 プリセットボタン(アップ)(▲)
- 13 バンド切り換えボタン
- 14 ランダムボタン
- 15 リピートボタン
- 16 D.バス(低音強調)ボタン
- 17 DIM(明るさ調節)ボタン
- 18 CD/MD使用時: 逆方向スキップ/サーチボタン(◀◀◀◀)
チューナー使用時: チューニング-(選局マイナス)ボタン
- 19 イコライザーボタン
- 20 音量調節ボタン(大)(▲)
- 21 MD再生/一時停止ボタン(▶)
- 22 MD停止ボタン(■)
- 23 CD再生/一時停止ボタン(▶)
- 24 CD停止ボタン(■)
- 25 ファンクションボタン
- 26 スリープボタン
- 27 電源ボタン

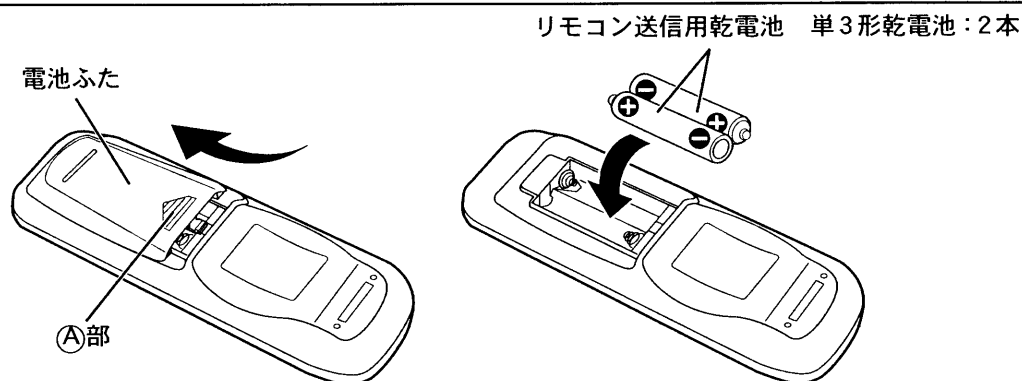


各部の名称(リモコン)(つづき)

リモコンの使える範囲は

- リモコンは本体リモコン受光部に向けて操作してください。
- 動作範囲は、本体ディスプレイ部の正面に向けた場合の直線距離で5~7m以内です。正面からずれるとこれより短くなります。

電池の入れかた



- ① 電池のふたの(A)部を下に押しながらかつ印の方向に引くと、電池ふたがはずれます。
 - ② 電池の⊕、⊖を確認して、正しく入れてください。電池は単3形乾電池2本を使用します。
 - ③ 電池を入れ終わったら、電池ふたを取り付けます。
- ※ 乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。下記の乾電池に対する「△注意」をよくお読みになって、正しく取り扱ってください。
- ※ 付属の単3形乾電池は動作確認用ですので、短期間に消耗してしまふことがあります。できるだけ早期に新しい乾電池と交換してください。

△注意

- 乾電池の誤った使いかたは、液もれや破裂の危険につながります。次の点にご注意ください。
- ① 乾電池は⊕プラスと⊖マイナスの向きを、間違えないように正しく入れてください。
 - ② 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - ③ 種類の異なる乾電池(例えば、マンガン乾電池とアルカリ乾電池)を混ぜて使用しないでください。
 - ④ 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
 - ⑤ 乾電池を加熱したり、分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しないでください。

リモコン操作時のご注意

- リモコンの操作をするとき、操作ボタンの早押しをすると、本体が動作しない場合があります。操作ボタンはゆっくりと確実に押ししてください。
- リモコン受光部に強い光が当たっていたり、リモコンと受光部の間に障害物があると、リモコンが動作しないことがあります。
- リモコンの乾電池が消耗すると、リモコンの動作範囲内でも動作しないことがあります。そのときは2本とも新しい乾電池と交換してください。
- リモコンに水などの液体をかけたたり、滴下させないでください。内部に液体が入ると、リモコンの操作ができなくなります。

時計を合わせる

本機の時刻表示は12時間表示です。AM、PMの意味は、夜の12時は「AM12:00」昼の12時は「PM12:00」です。

たとえば午後6:15(PM6:15)に合わせるとき

1 時刻合わせモードを選ぶ	2 時刻合わせ開始
3 「時」を合わせる	4 「時」を決定する
5 「分」を合わせる	6 時刻合わせ終了
	<p>マルチジョグボタンを押します。この時から時計は動作を始めます。</p>

■ 現在時刻の確認/変更のしかた

現在時刻の確認/変更は再生しているファンクションに関係なく行なうことができます。

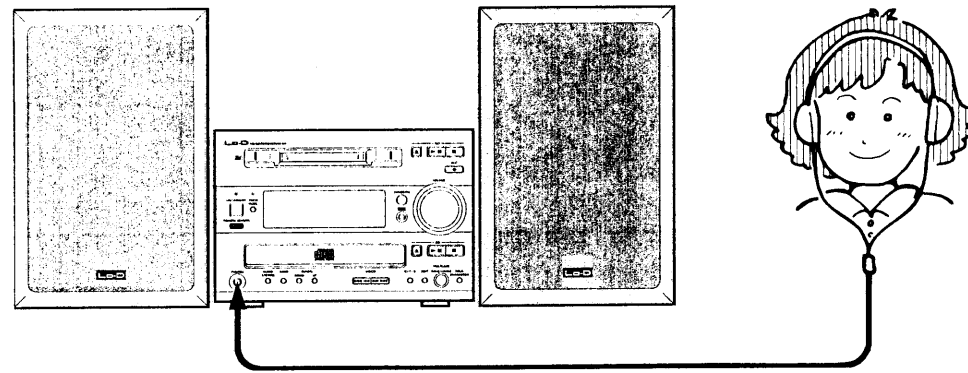
- 現在時刻の確認
C/T/Sボタンを押すと現在時刻が表示されます。元の表示に戻すには「CLOCKと時刻」が表示されているときは3回、「時刻」のみ表示されているときは1回押します。
- 現在時刻の変更
「時計を合わせる」の方法で変更します。

操作をする前に

ヘッドホンでお聴きになるときは

- 夜間などにヘッドホンで音楽を楽しまれるときは、別売のステレオヘッドホンのプラグを本体のヘッドホン端子に差し込みます。ヘッドホンの音量は、音量調節つまみで調整します。ヘッドホンのプラグを差し込むとスピーカーから音が出なくなります。

注意 ヘッドホンは耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

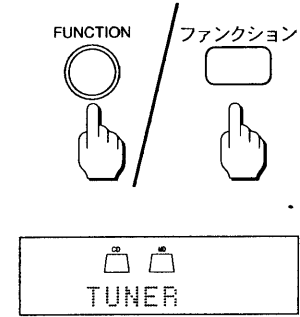


■ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。窓を締めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

ラジオを聴く

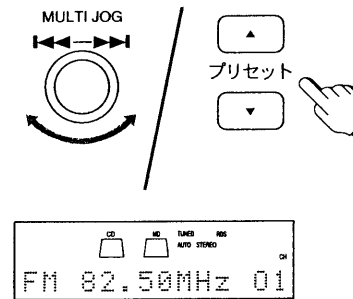
1 ファンクションをチューナーにする



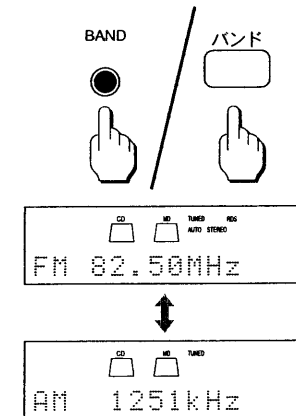
プリセット選局

マニュアル選局

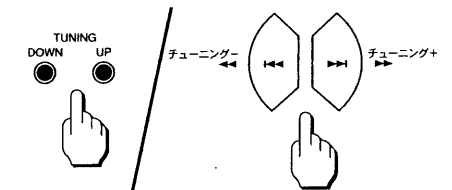
2a 放送局を選ぶ



2b バンドを選ぶ



3b 放送局を選ぶ



チューニングボタンを1秒以上押してから離すと、放送を受信したところで自動的に止まります。

放送局をプリセットする

- FM/AM合わせて合計40局のプリセットができます。
- 自動的に放送局をプリセットするオートプリセットはFM放送のみできます。AM放送ではできません。

1 プリセットする放送局のバンドを選ぶ	2 放送局を選ぶ
3 FM受信モード(モノ/ステレオ)を選ぶ (FM受信のとき)	4 プリセットモードにする
<p>※ 雑音が多いときは、モノにした方が聴きやすくなります。</p>	
5a プリセット番号を選ぶ	5b オートプリセットの場合(FMのみ)
<p>右に回す</p>	<p>左に回す</p>
6a プリセットする	6b オートプリセット開始
7 他の放送局をプリセットするには手順1~6aを繰り返します。	
8 手順5aのあとで放送局名を入れることができます(19ページ参照)。	

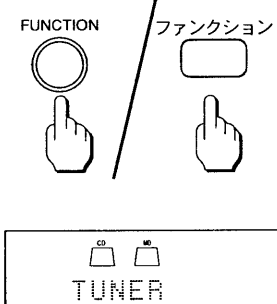
ご注意
●本機はあらかじめ調整用周波数がプリセットされています。

放送局に名前をつける

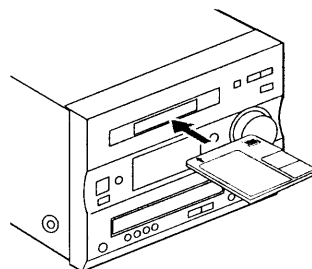
1 18ページの手順5aのあと、次のようにしてください	
2 局名入力モードにする	3 文字を選ぶ
	<p>■ ア、イ、ウ、エ、オ～ ■ A～Z、0～9 ■ a～z、0～9 □ ! " # \$ % など</p>
4 カーソルを送る	5 手順3と4を繰り返す
	<p>8文字まで入力できます。</p> 6 文字を訂正するには 消したい文字にカーソルを合わせてC/T/Sボタンを押します。
7 入力終了	8 局名を表示するには
	<p>周波数表示モードと局名表示モードが切り換えられます。</p>

ラジオからMDへ録音する

1 ファンクションをチューナーにする

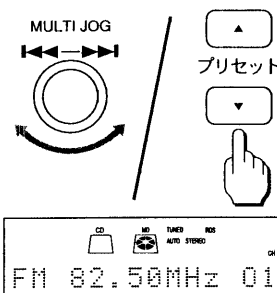


2 MDを入れる

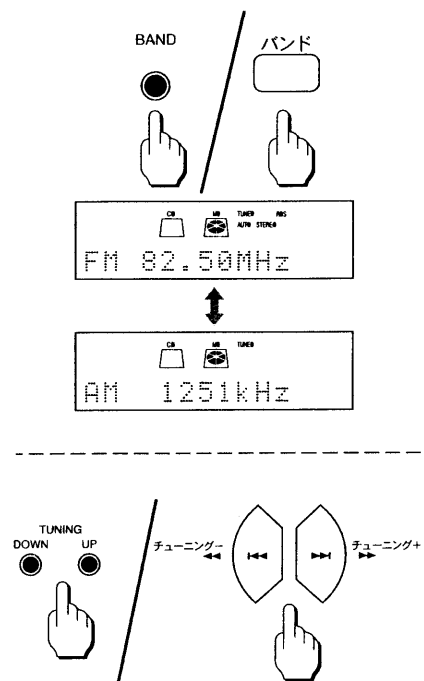


3 放送局を選ぶ

プリセット選局

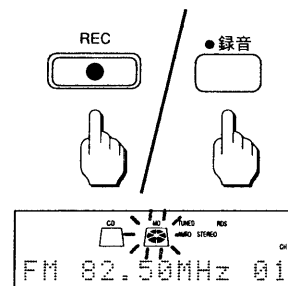


マニュアル選局

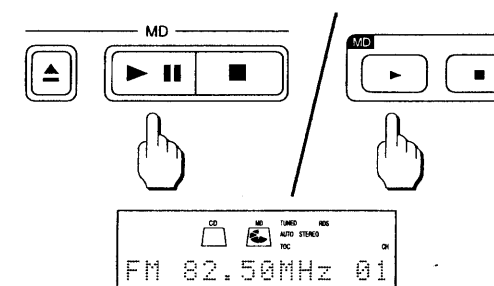


ラジオからMDへ録音する(つづき)

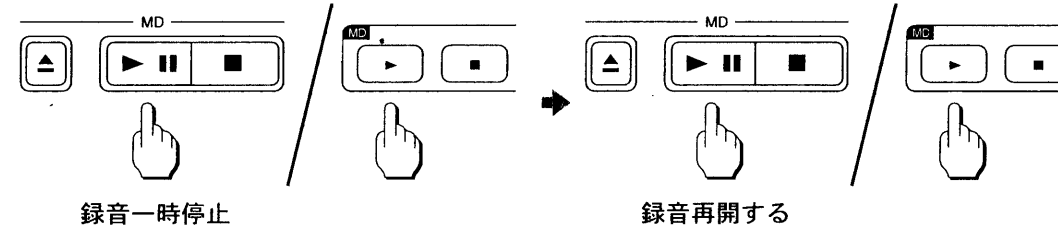
5 録音待機状態にする



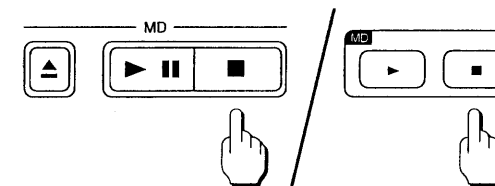
6 録音開始



7a 録音一時停止/再開するには



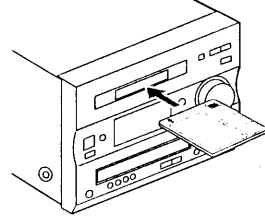
7b 録音を停止するには



ラジオからMDへタイマー録音する

1 録音準備

あらかじめ録音できるMDをセットしておきます。

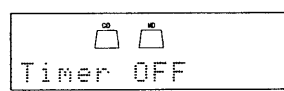


2 タイマー設定モードにする

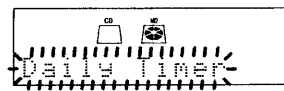
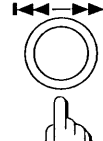
C/T/S



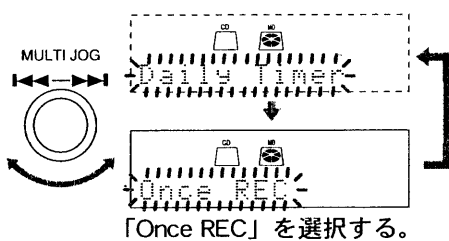
2回押す



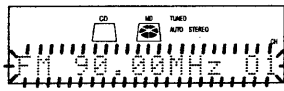
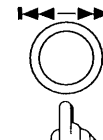
MULTI JOG



3 タイマー録音モードにする

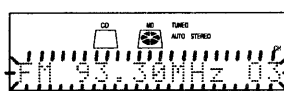


MULTI JOG

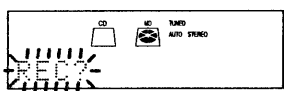
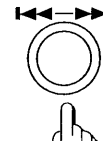


4 録音する放送局を選ぶ

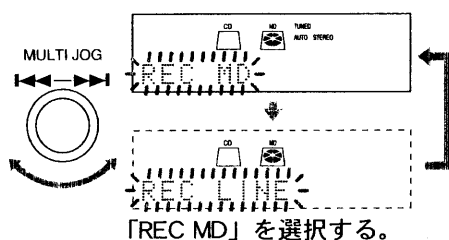
MULTI JOG



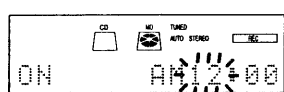
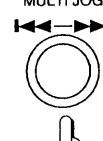
MULTI JOG



5 録音する機器を選ぶ

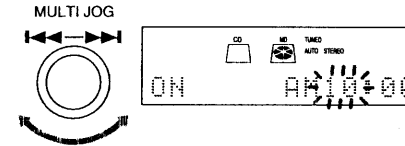


MULTI JOG

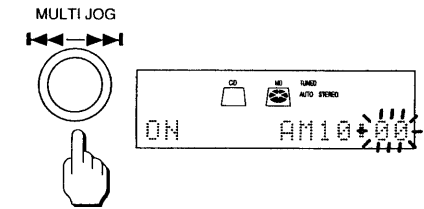


ラジオからMDへタイマー録音する(つづき)

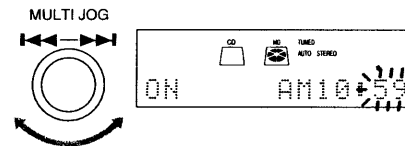
6 録音開始時刻の「時」を合わせる



7 録音開始時刻の「時」を決定する

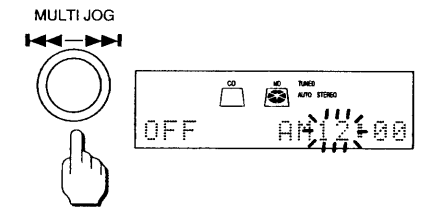


8 録音開始時刻の「分」を合わせる

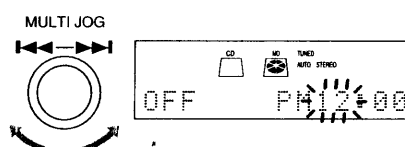


先頭部分が欠けるのを防止するため、1分早くセットすることをお勧めします。

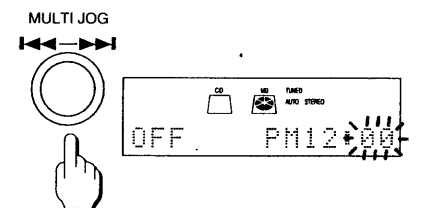
9 録音開始時刻の「分」を決定する



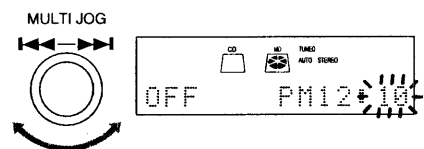
10 録音終了時刻の「時」を合わせる



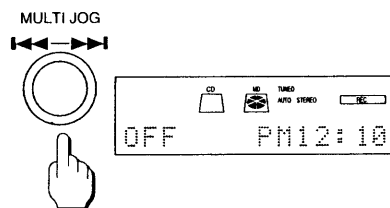
11 録音終了時刻の「時」を決定する



12 録音終了時刻の「分」を合わせる

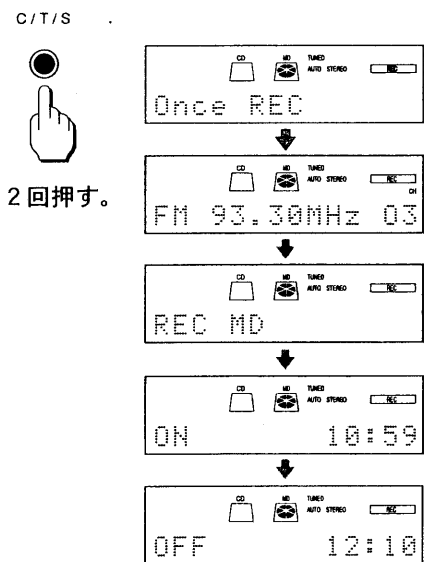


13 録音終了時刻の「分」を決定する



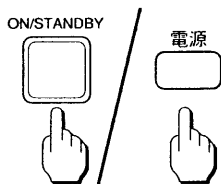
設定した内容が順次表示されます。

14 タイマー設定を確かめるには



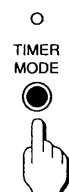
15 電源を切る(現在時刻確認)

電源を切ると数秒間現在時刻が表示されることを確認します。
現在時刻が設定されていないとタイマーは動作しません。



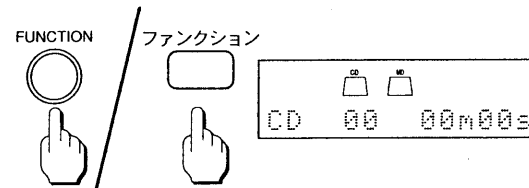
設定した時刻になると自動的に電源が入り録音が始まります。

16 タイマー録音を解除するには

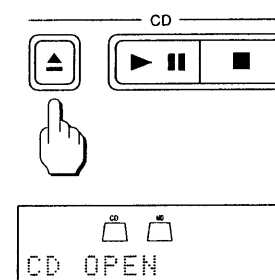


タイマーモードインジケータを消灯します

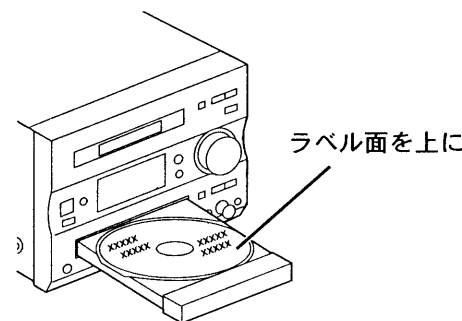
1 ファンクションをCDにする



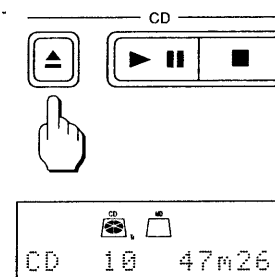
2 CDトレイを開く



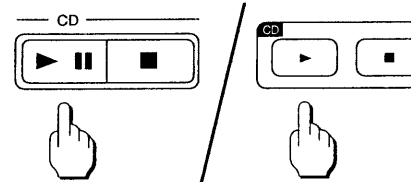
3 CDを入れる



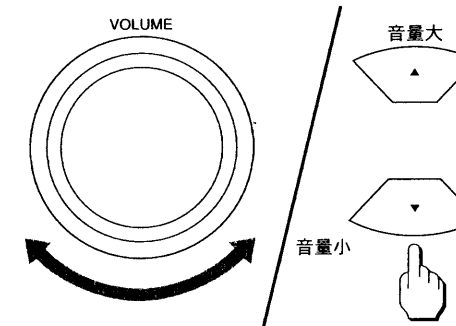
4 CDトレイを閉じる



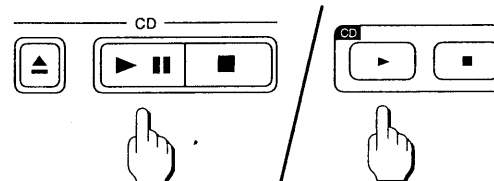
5 再生を始める



6 音量を調整する

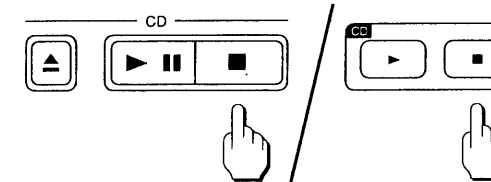


7 再生を一時停止するには/再開するには



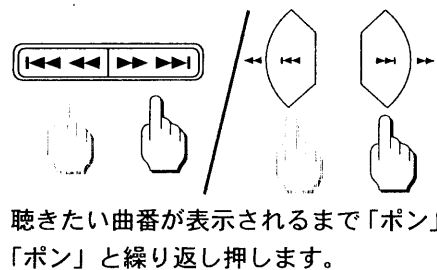
再生一時停止からもう一度再生/一時停止ボタンを押すと、止めたところから再び再生が始まります。

8 再生を停止するには



CDを再生する(つづき)

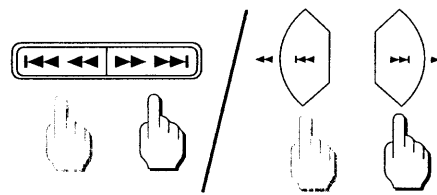
再生中に好きな曲へ飛ぶには



聴きたい曲番が表示されるまで「ポン」「ポン」と繰り返し押します。

- たとえば、5曲目を再生中のとき
- ・ 次の曲(6曲目)を再生するには
▶▶ボタンを「ポン」と1回押す。
 - ・ 5曲目をもう一度再生するには
◀◀ボタンを「ポン」と1回押す。
 - ・ 前の曲(4曲目)を再生するには
◀◀ボタンを「ポン」「ポン」と2回押す。

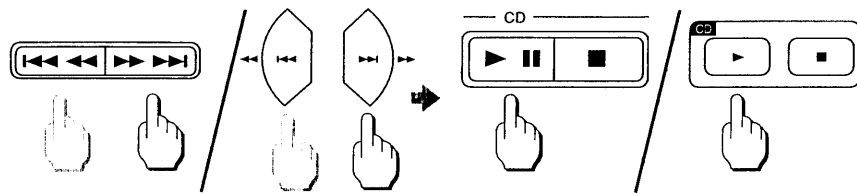
再生中にすばやく好きなところをさがすには



再生中にボタンを押し続けます。指を離すと通常の再生に戻ります。

▶▶ : 早送り
◀◀ : 巻戻し

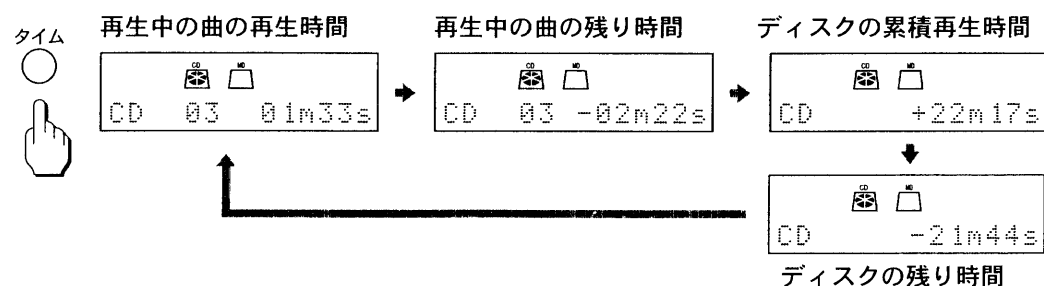
好きな曲から再生を始めるには



聴きたい曲番が表示されるまで「ポン」「ポン」と繰り返し押します

再生を始めます

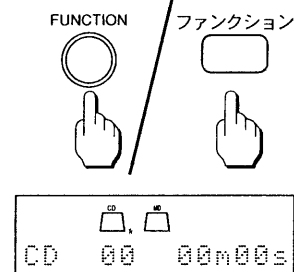
再生時間の表示モードを切替えるには(リモコン操作のみ)



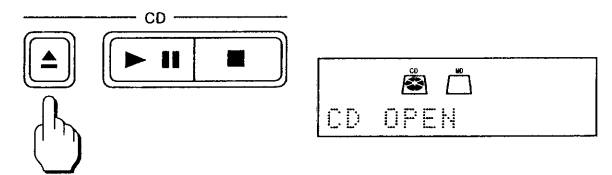
CDをプログラム再生する(リモコン操作のみ)

最大30曲まで好きな順番でプログラム再生ができます。

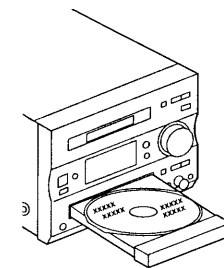
1 ファンクションをCDにする



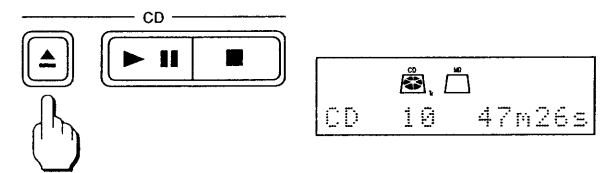
2 CDトレイを開く



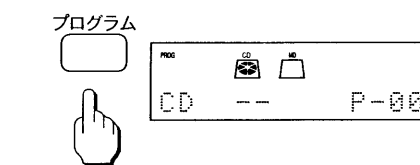
3 CDを入れる



4 CDトレイを閉じる

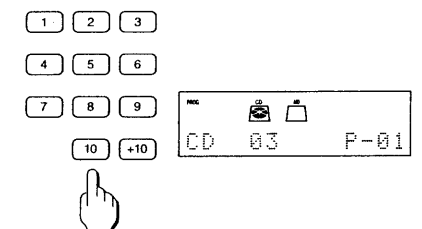


5 プログラム選曲モードにする



リモコンのプログラムボタンを押します。

6 リモコンのテンキーで希望の曲順に曲番を入力する



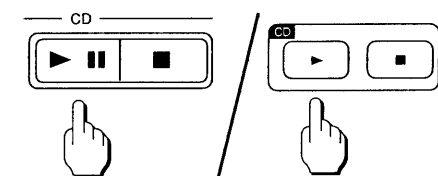
最大30曲まで入力できます。

7 プログラムを取り消すには



直前の入力を取り消されます。

8 プログラムした曲を再生するには



プログラムを全て取り消すには

停止状態でもう一度CD停止ボタン(■)を押すとプログラムはすべて取り消されます。また、CDトレイを開いてもプログラムは取り消されず。

CDをランダム再生する(リモコン操作のみ)

ディスクに収められている曲の順番を自動的に並べ換えて再生を始めます。
ランダム再生は停止状態あるいは再生中でも始めることができます。

<p>1 ファンクションをCDにする</p>	<p>2 CDトレイを開く</p>
<p>3 CDを入れる</p>	<p>4 CDトレイを閉じる</p>
<p>5 ランダム再生開始</p> <p>リモコンのランダムボタンを押します。</p>	<p>6 ランダム再生を停止するには</p>

CDを繰り返して再生する(リモコン操作のみ)

CD再生中または停止中にリピートボタンを押す

1曲を繰り返す

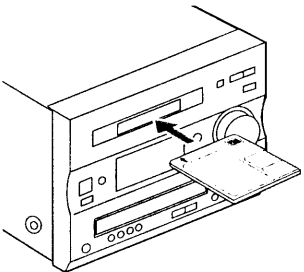
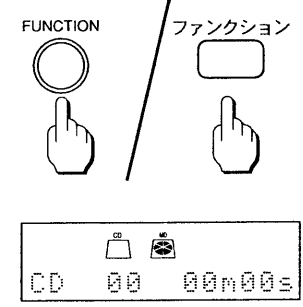
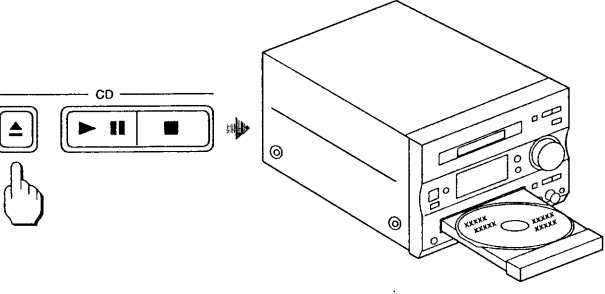
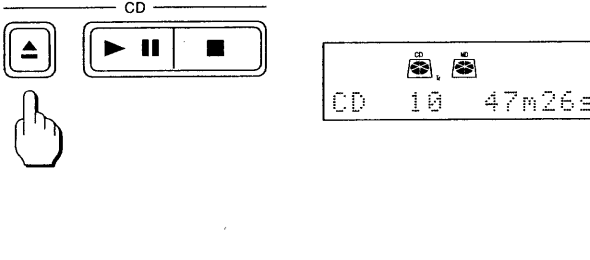
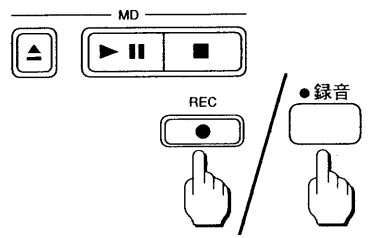
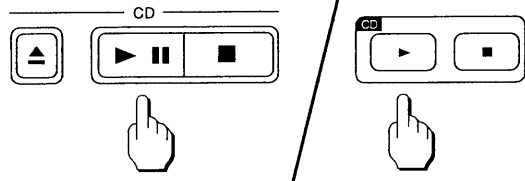
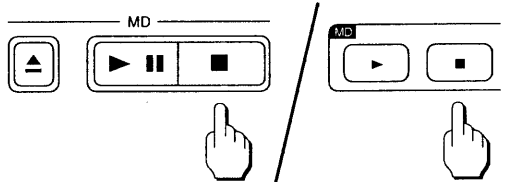
↓

全曲を繰り返す

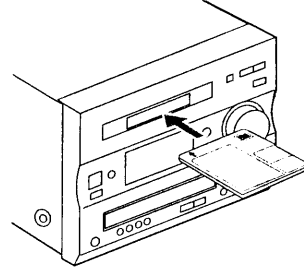
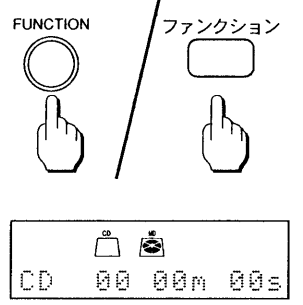
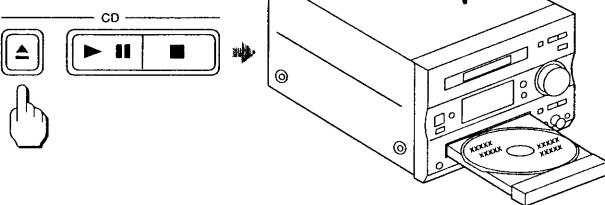
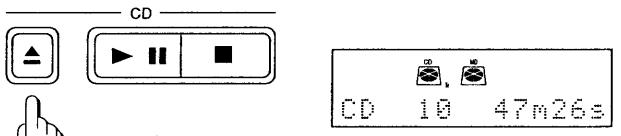
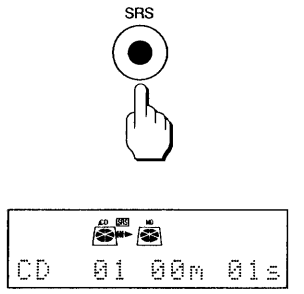
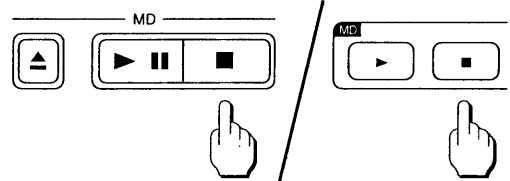
↓

繰り返しを中止する

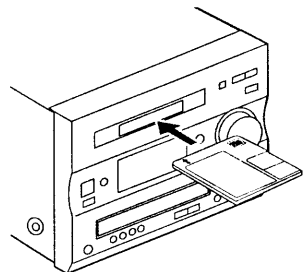
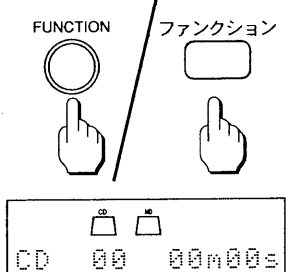
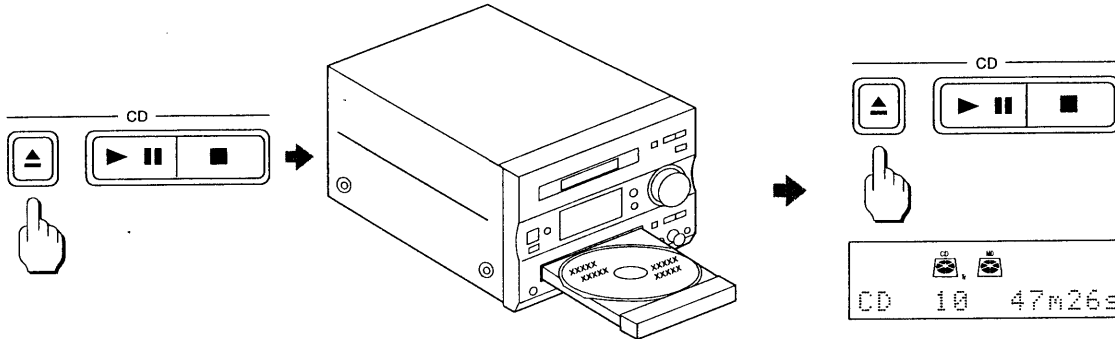
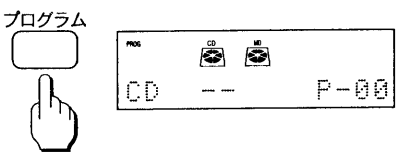
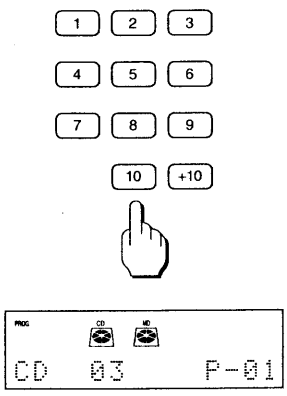

CDからMDへ録音する

<p>1 MDを入れる</p> 	<p>2 ファンクションをCDにする</p> 
<p>3 CDを入れる</p> 	<p>4 CDトレイを閉じる</p> 
<p>5 MDを録音待機状態にする</p> 	<p>6 CDの再生を始める</p>  <p>同時にMDの録音が始まります。</p>
<p>7 録音を停止するには</p>  <p>MDは録音を停止しますが、CDは再生を続けます。</p>	

CDからMDへ録音する(SRSシンクロ録音)

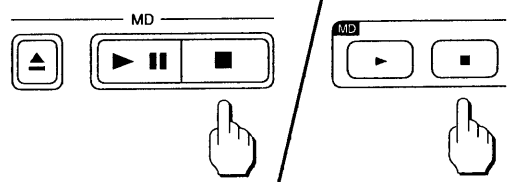
<p>1 MDを入れる</p> 	<p>2 ファンクションをCDにする</p> 
<p>3 CDを入れる</p> 	<p>4 CDトレイを閉じる</p> 
<p>5 SRSシンクロ録音開始</p>  <p>SRSシンクロ録音中は、MD、CDの停止ボタン以外の操作ボタンは、はたらかなくなります。</p>	<p>6 録音を停止するには</p>  <p>MD、CD共に停止します。</p>

好きな曲だけを選んでCDからMDへ録音する

<p>1 MDを入れる</p> 	<p>2 ファンクションをCDにする</p> 	
<p>3 CDを入れる</p> 		
<p>4 プログラム選曲モードにする</p> 	<p>5 リモコンのテンキーで希望の曲順に曲番を入力する</p> 	<p>6 録音開始</p> 

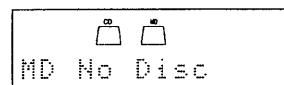
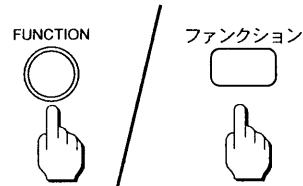
好きな曲だけを選んでCDからMDへ録音する(つづき)

7 録音を停止するには

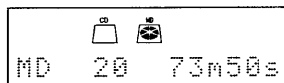
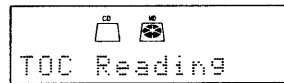
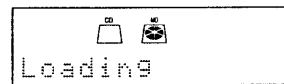
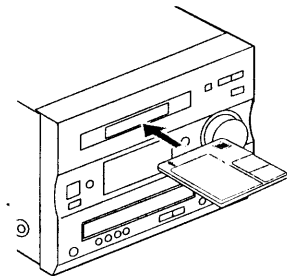


MD、CD共に停止します。

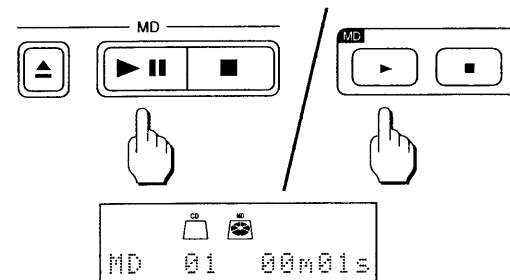
1 ファンクションをMDにする



2 MDを入れる

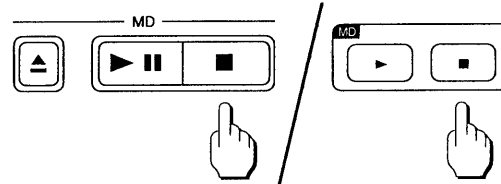


3 再生を始める

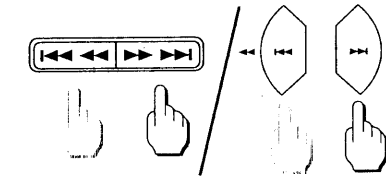


- 再生を一時停止するには再生/一時停止ボタンを押します。もう一度押すと止めたところから再び再生が始まります。

4 再生を停止するには



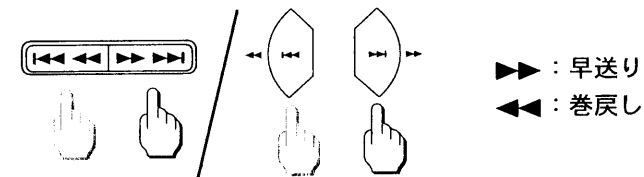
再生中に好きな曲へ飛ぶには



聴きたい曲番が表示されるまで「ポン」「ポン」と繰り返し押します。

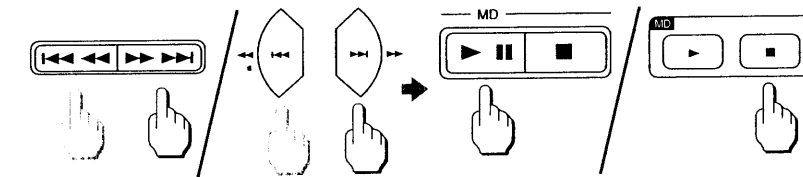
- たとえば5曲目を再生中のとき
- 次の曲(6曲目)を再生するには
▶▶ボタンを「ポン」と1回押す。
 - 5曲目をもう一度再生するには
◀◀ボタンを「ポン」と1回押す。
 - 前の曲(4曲目)を再生するには
◀◀ボタンを「ポン」「ポン」と2回押す。

再生中にすばやく好きなところをさがすには



再生中にボタンを押し続けます、指を離すと通常の再生に戻ります。

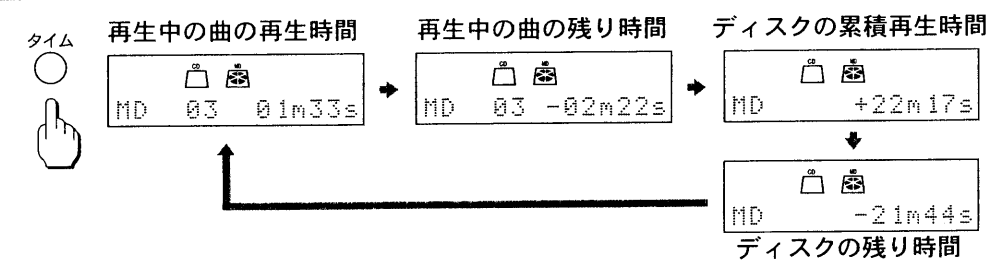
好きな曲から再生を始めるには



聴きたい曲番が表示されるまで「ポン」「ポン」と繰り返し押します。

再生を始めます

再生時間の表示モードを切替えるには(リモコン操作のみ)



ディスク名や曲名を表示させるには(リモコン操作のみ)



ディスクの名前あるいは、曲名を表示します。
〔注意〕ただし、ディスクの名前、曲名をつけていない場合は表示されません。

MDをプログラム再生する(リモコン操作のみ)

- 最大30曲まで好きな順番でプログラム再生ができます。

<p>1 ファンクションをMDにする</p>	<p>2 MDを入れる</p>	<p>3 プログラム選曲モードにする</p> <p>リモコンのプログラムボタンを押します。</p>
<p>4 リモコンのテンキーで希望の曲順に曲番を入力する</p>	<p>5 プログラムを取り消すには</p> <p>リモコンのクリアボタンを押します 直前の入力を取り消されます。</p>	
<p>6 プログラムした曲を再生する</p>	<p>7 プログラム再生を停止するには</p>	

MDをランダム再生する(リモコン操作のみ)

- ディスクに収められている曲の順番を自動的に並べ換えて再生します。ランダム再生は停止状態あるいは再生中でも始めることができます。

<p>1 ファンクションをMDにする</p>	<p>2 MDを入れる</p>
<p>3 ランダム再生開始</p>	
<p>4 ランダム再生を停止するには</p>	

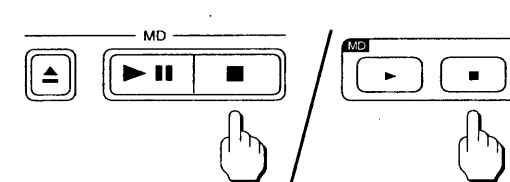
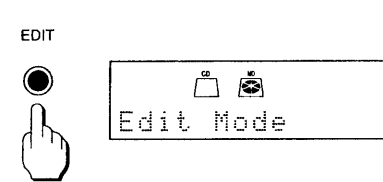

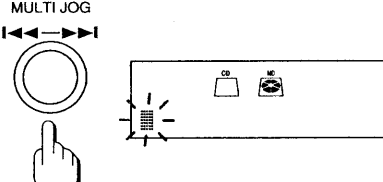
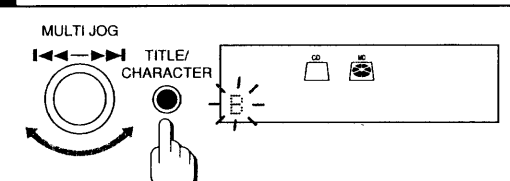
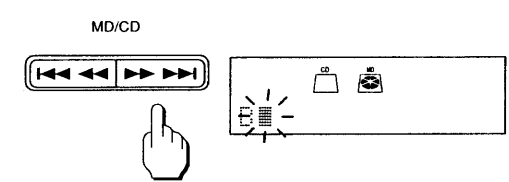
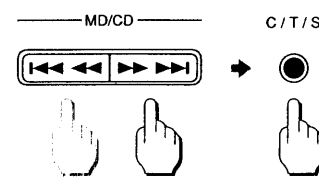
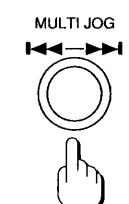
MDを繰り返して再生する(リモコン操作のみ)

MD再生中または、停止中にリピートボタンを押す

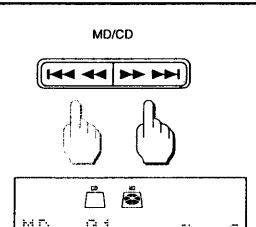
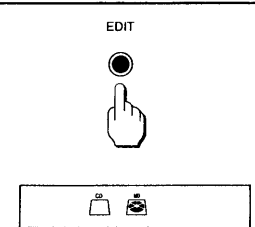
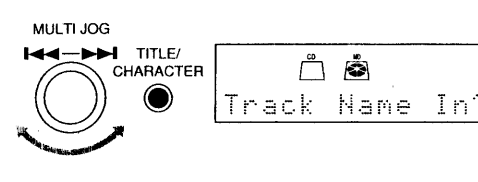
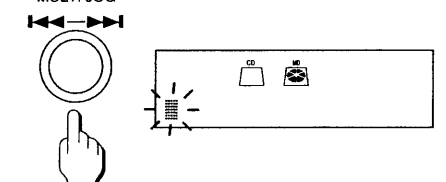
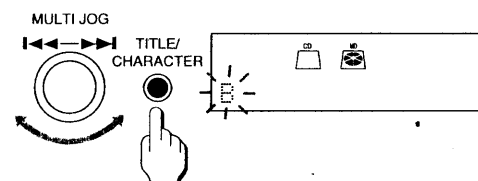
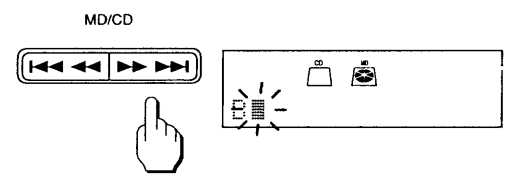
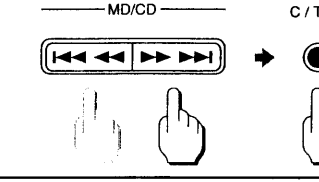
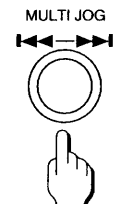
リピート

1曲を繰り返す → 全曲を繰り返す → 繰り返しを中止する

MDに名前をつける

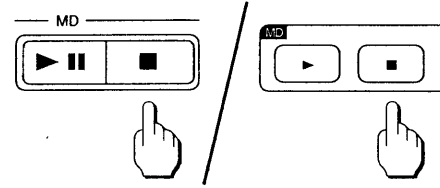
<p>1 MD停止状態で操作します</p> 	<p>2 エディット(編集)モードにする</p> 
<p>3 ディスク名入力モードを選ぶ</p> 	<p>4 ディスク名入力開始</p> 
<p>5 文字を選ぶ</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ ア、イ、ウ、エ、オ～ ■ A～Z、0～9 ■ a～z、0～9 ■ !”#\$%など 	<p>6 カーソルを送る</p> 
<p>7 手順5と6を繰り返してMDに名前をつける。</p> <p>最大 100 文字まで入力できます。 ただし、曲名とディスク名の合計は 1700 文字までです。</p>	<p>8 文字を訂正するには</p> <p>消したい文字にカーソルを合わせてC/T/Sボタンを押します。</p> 
<p>9 入力終了</p> 	

MDの曲に名前をつける

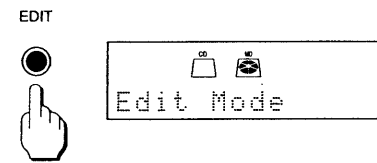
<p>1 名前をつける曲を選ぶ</p> 	<p>2 エディット(編集)モードにする</p> 
<p>3 曲名入力モードにする</p> 	<p>4 曲名入力開始</p> 
<p>5 文字を選ぶ</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■ ア、イ、ウ、エ、オ～ ■ A～Z、0～9 ■ a～z、0～9 ■ !”#\$%など 	<p>6 カーソルを送る</p> 
<p>7 手順5と6を繰り返して曲に名前をつける。</p> <p>最大 100 文字まで入力できます。 ただし、曲名とディスク名の合計は 1700 文字までです。</p>	<p>8 文字を訂正するには</p> <p>消したい文字にカーソルを合わせてC/T/Sボタンを押します。</p> 
<p>9 入力終了</p> 	

MDの名前を消去する

1 MD停止状態で操作します



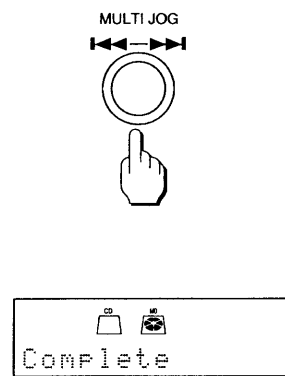
2 エディット(編集)モードにする



3 ディスク名消去モードにする

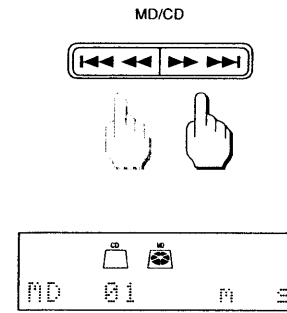


4 ディスク名消去実行

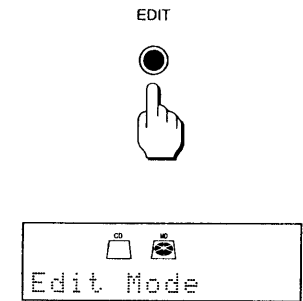


MDの曲の名前を消去する

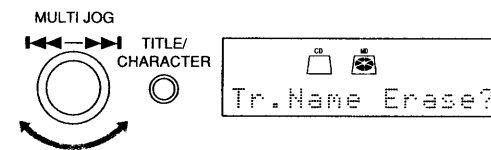
1 消去したい曲を選ぶ



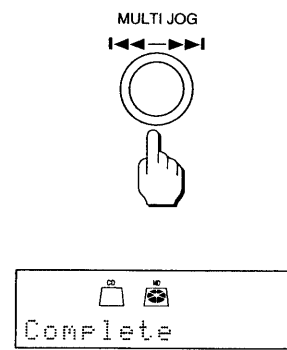
2 エディット(編集)モードにする



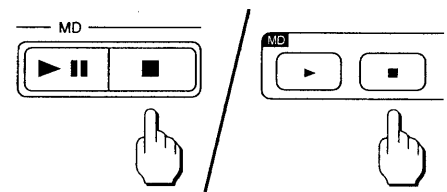
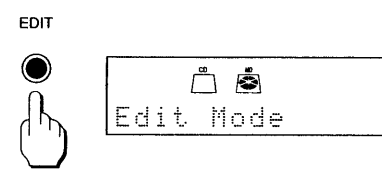
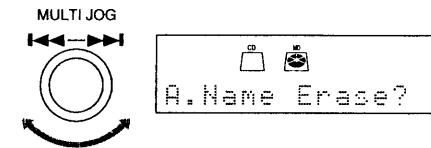
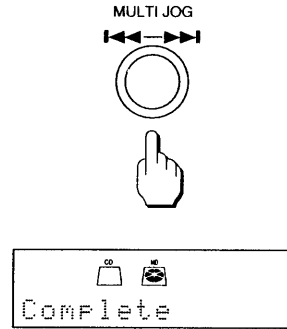
3 トラック名消去モードにする



4 曲の名前の消去実行

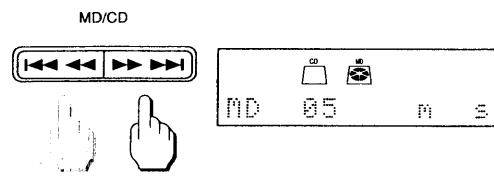
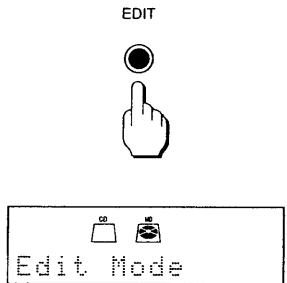
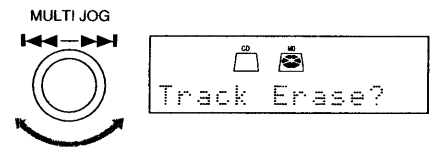



MDの名前と曲の名前を全て消去する

<p>1 MD停止状態で操作します</p> 	<p>2 エディット(編集)モードにする</p> 
<p>3 全名前消去モードにする</p> 	<p>4 ディスク名および曲の名前を全て消去実行</p> 

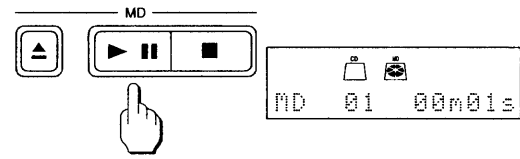
MDに録音した曲を消す

どれか一つの曲を消すには

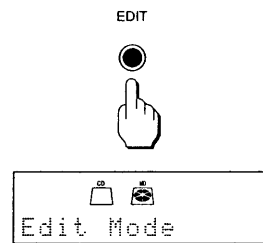
<p>1 消去する曲を選ぶ</p> 	<p>2 エディット(編集)モードにする</p> 
<p>3 曲名消去モードにする</p> 	<p>4 消去実行</p> 

曲の一部を消去するには

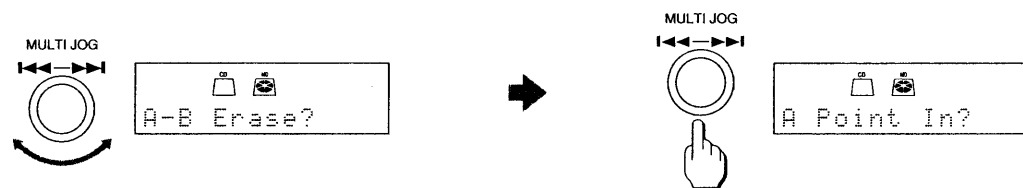
1 MDを再生する



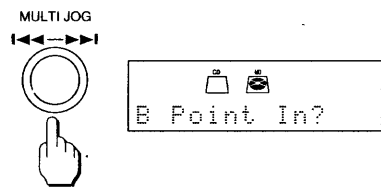
2 エディット(編集)モードにする



3 A-Bイレース(部分消去)モードにする

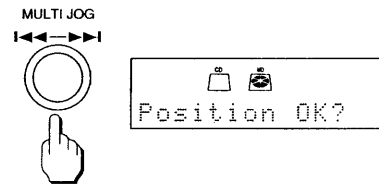


4 消去開始するところを指定する



消去したい部分の最初を再生中に押します。

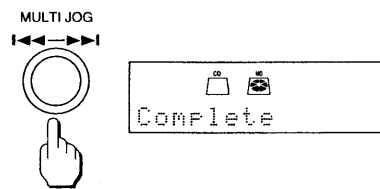
5 消去終了するところを指定する



消去したい部分の最後を再生中に押します。

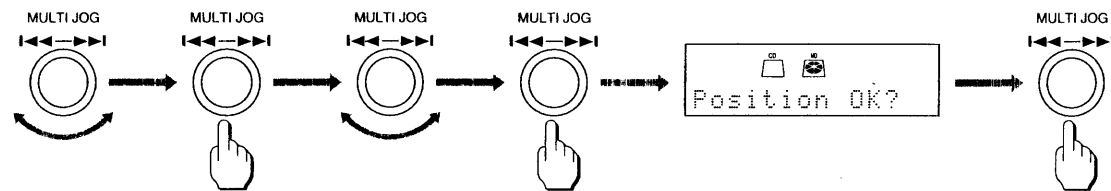
6 消去を確定する

消去した結果が繰り返し再生されるので良ければマルチジョグを押します。



消去ポイントを微調整するには

手順6でマルチジョグを回せば消去ポイントの微調整ができます。

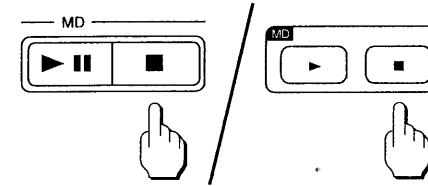


開始ポイントの調整

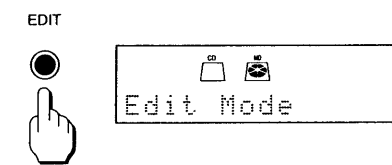
終了ポイントの調整

全ての曲を消去するには

1 MD停止状態で操作します



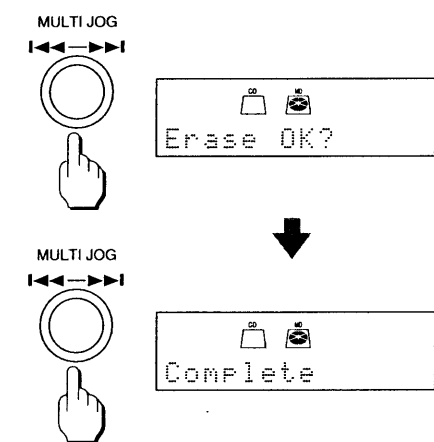
2 エディット(編集)モードにする



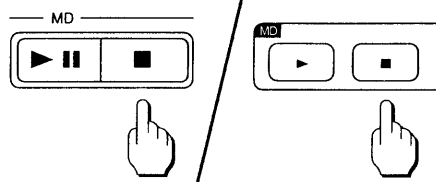
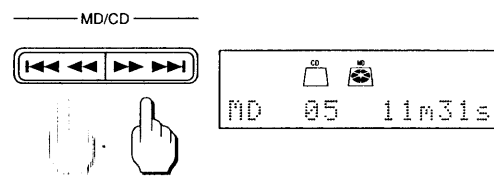

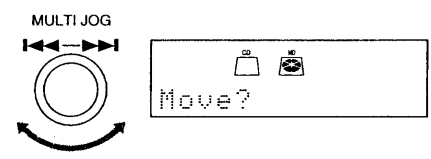
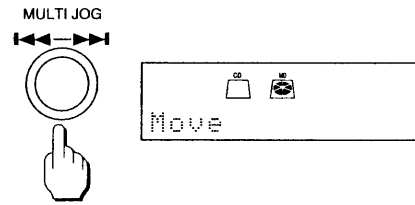


3 全曲消去モードを選ぶ



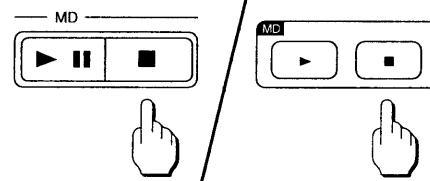
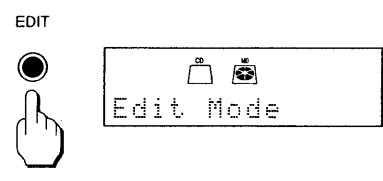
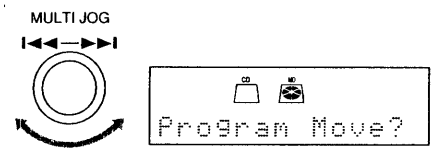



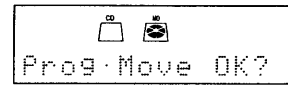

4 全曲消去実行



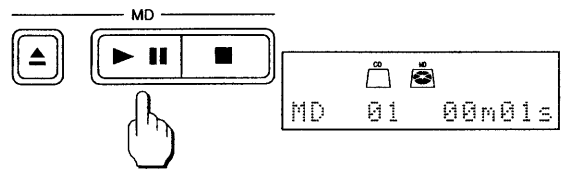
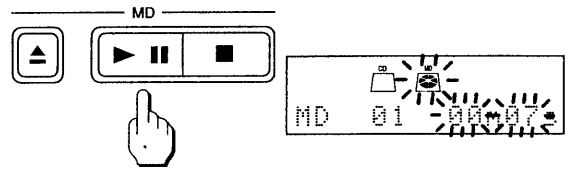
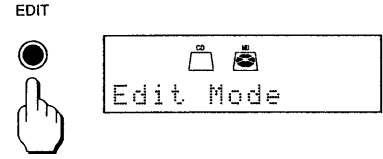
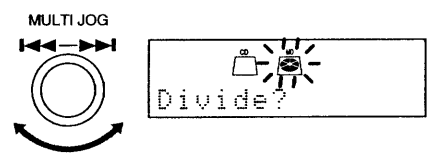
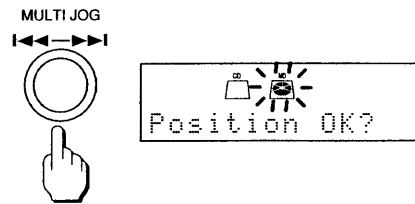


MDに録音した曲を移動する

1 MD停止状態で操作します	2 移動したい曲を選ぶ
	
3 エディット(編集)モードにする	4 ムーブ(曲移動)モードを選ぶ
	
5 移動操作開始	6 移動先の曲番を選ぶ
	<p>曲番5を曲番7に移動するとき</p> 
7 曲移動実行	
	

MDに録音した曲を並べ替える

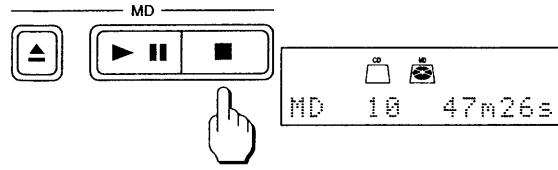
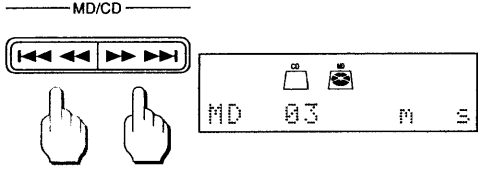
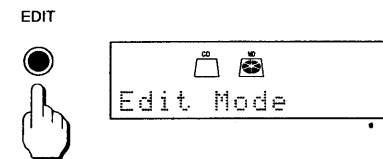
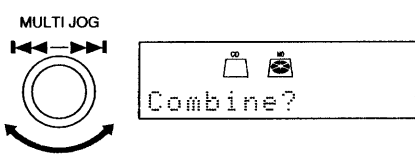
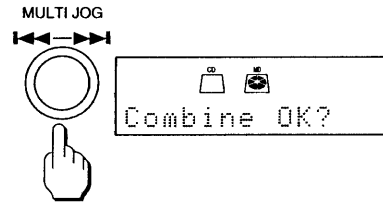

1 MD停止状態で操作します	2 エディット(編集)モードにする
	
3 プログラムムーブ(並べ替え)を選ぶ	4 プログラムモードにする
	 <p>新たに1曲目としてプログラムするモードになります。</p>
5 曲番をプログラムする	
<p>新しい曲順の1曲目から順にプログラムしていきます。</p>	
  <p>例えば、現在3曲目の曲を1曲目にしたい時は「3」と指定します。</p> <p>1曲目に3曲目がプログラムされて、2曲目のプログラムモードになります。</p>	
6 手順5を繰り返してプログラムする	7 並べ替えの実行
<p>全曲プログラムし終ると下図の表示になります。途中でプログラムを打ち切る(最初の方だけプログラムする)ときはマルチジョグを押します。</p> 	
<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●同じ曲を2回以上プログラムすることはできません。 ●プログラムした以外の曲は、プログラムした曲の後ろに並べ替えられます。 	

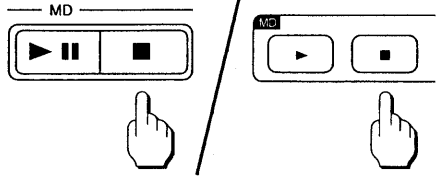
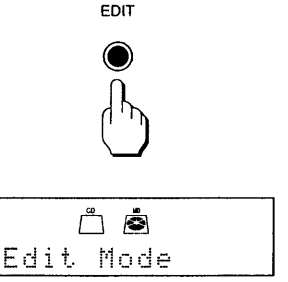
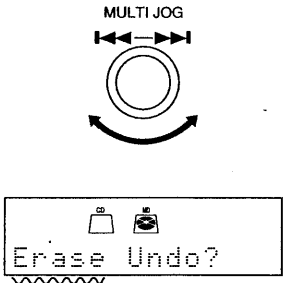
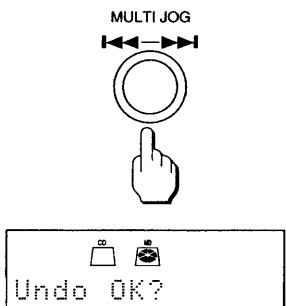
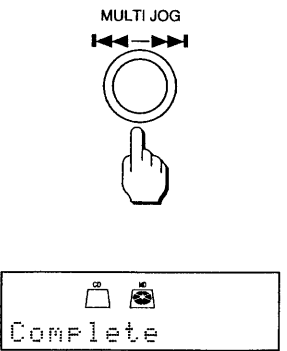
MDに録音した曲を分割する

1 分割する曲を再生する	2 分割したいところで再生を一時停止する
	
3 エディット(編集)モードにする	4 ディバイド(曲分割)モードを選ぶ
	
5 分割した結果を確認する	6 分割ポイントを微調整する
分割した結果が繰り返し再生されます。 	
7 曲分割実行	
	

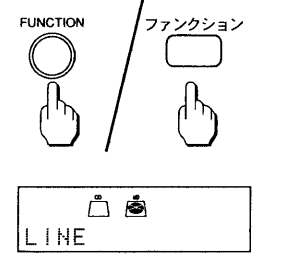
MDに録音した曲をつなげる

例：2曲目と3曲目をつなげる場合

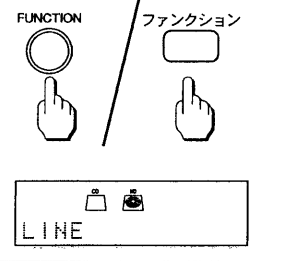
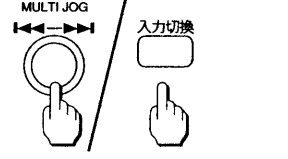
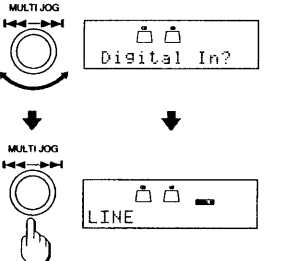
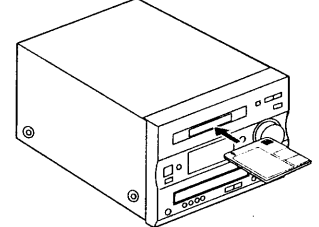
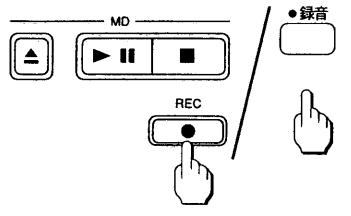
1 MD停止状態で操作します	2 つなげたい2曲の後の方の曲を選ぶ
	
3 エディット(編集)モードにする	4 コンバイン(曲結合)モードを選ぶ
	
5 つなげた結果を確認する	6 曲結合実行
「つなぎめ」の部分が繰り返し再生されます。 	
<p>注意 つなげるのは連続した曲だけです。離れた曲をつなげたい時は、あらかじめ曲を連続した順に移動してからつなげてください。</p> <p>次のような曲はつなぐことはできません</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ステレオモードで録音された曲とモノラルモードで録音された曲 ●デジタル録音した曲とアナログ録音した曲 	

<p>1 MD停止状態で操作します</p> 	<p>2 エディット(編集)モードにする</p> 
<p>3 アンドゥ(編集取消)モードを選ぶ</p>  <p>この部分の文字は直前の編集操作によって変わります</p>	<p>4 取消し確認メッセージ</p> 
<p>5 編集取消し実行</p> 	

ライン入力を聴くには

<p>1 ファンクションをラインにする</p> 	<p>2 再生を始める</p> <p>ライン入力端子に接続した機器の再生を始めます。</p>
--	---

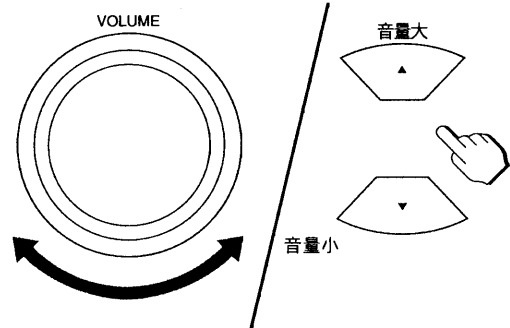
光デジタル入力を聴くには

<p>1 ファンクションをラインにする</p> 	<p>2 入力選択モードにする</p> 
<p>3 デジタル入力を選ぶ</p> 	<p>4 録音できるMDを入れる</p> 
<p>5 MD録音待機状態にする</p> 	<p>6 再生を始める</p> <p>光デジタル入力端子に接続した機器の再生を始めます。</p>

ライン入力で音が歪んで聴こえるときは
 「光デジタル入力を聴くには」の手順3で「Analog In」を選んだ後「Att On?」を選ぶと音の歪が改善されます。

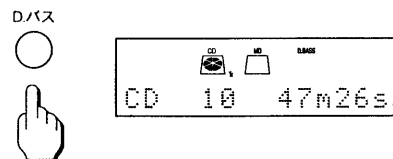
音量/音質を調節する

1 音量を調節するには

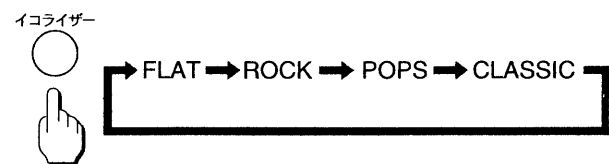


- 電源を切ったときは、切る前の音量レベルが保持されます。
- 本機は工場出荷時音量レベル Vol10 に設定されています。
- 停電や電源コードをコンセントから抜いた時は、音量レベルは Vol10 に設定されます。

2 低音を強調するには(リモコン操作のみ)



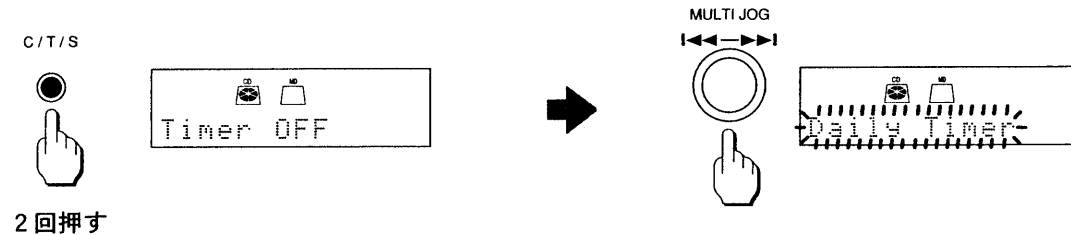
イコライザーを選ぶ(リモコン操作のみ)



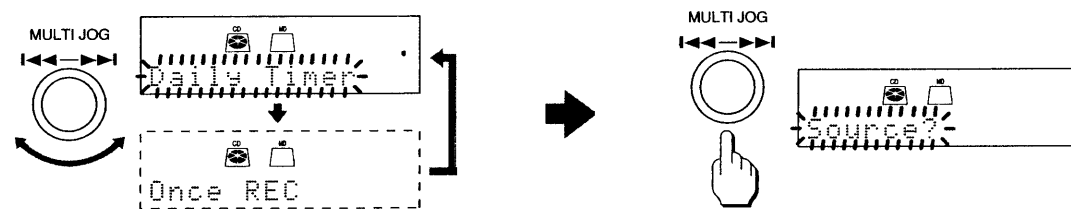
- FLAT ソフト本来の音が自然に聞こえます。標準的な音です。
 ROCK ロックなどを迫力ある音で聴きたいときに最適です。
 POPS 気軽なリスニングに向く落ち着いた音です。
 CLASSIC 高音が繊細で帯域の広い雄大な音です。クラシック音楽に向きます。

音楽で見始めるには

1 タイマー設定モードにする

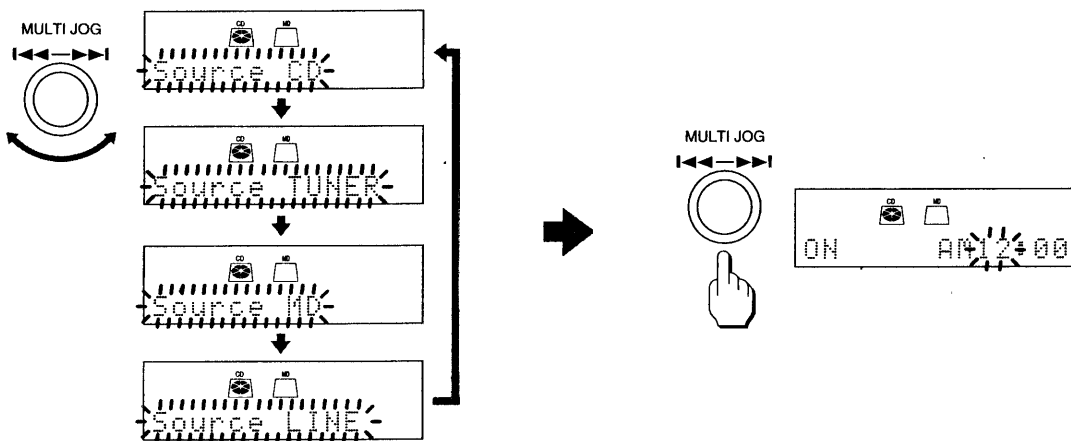


2 タイマー再生モードにする

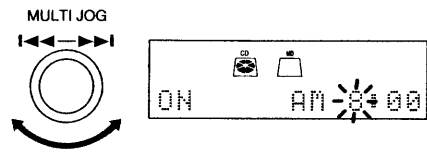


「Daily Timer」を選択します。

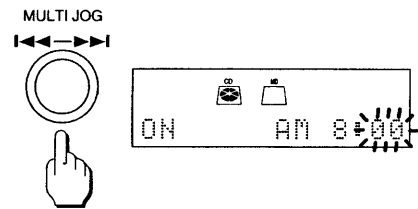
3 再生するソースを選ぶ



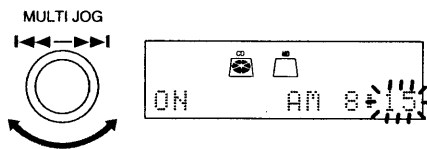
4 再生開始時刻の「時」を合わせる



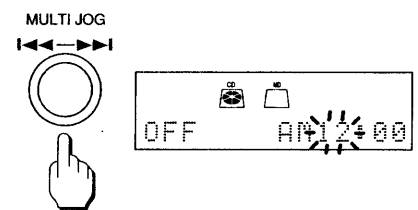
5 再生開始時刻の「時」を決定する



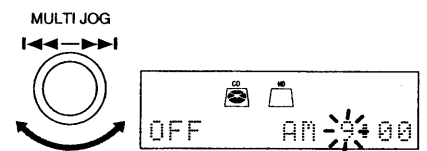
6 再生開始時刻の「分」を合わせる



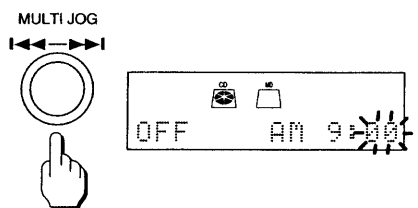
7 再生開始時刻の「分」を決定する



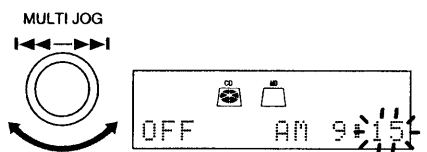
8 再生終了時刻の「時」を合わせる



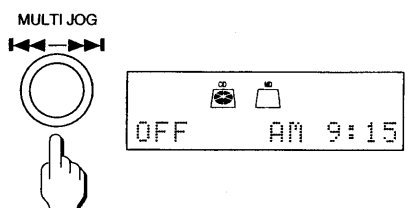
9 再生終了時刻の「時」を決定する



10 再生終了時刻の「分」を合わせる

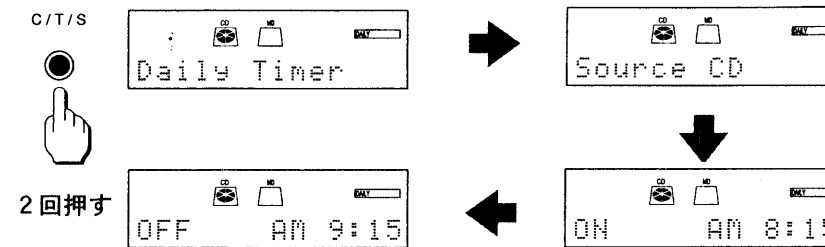


11 再生終了時刻の「分」を決定する



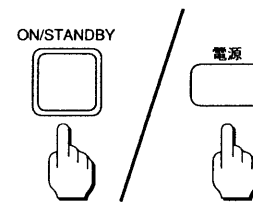
設定した内容が順次表示されます。

12 タイマー設定を確かめるには



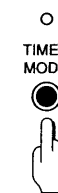
設定した内容が順次表示されます。

13 電源を切る



設定した時刻になると、自動的に電源が入り、再生が始まります。

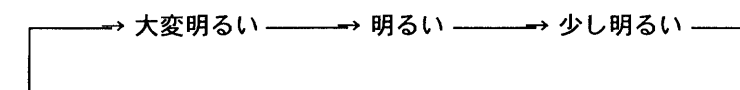
14 目覚まし設定を解除するには



タイマーモードインジケータを消灯します。

本機はオートファンクション機能を備えております。MD、CDの再生/一時停止ボタンあるいはBANDボタンを押す事により、ファンクションの切換えができます。また、電源スタンバイ状態から再生/一時停止ボタンあるいはBANDボタンを押すことで、電源オンレディスク再生、ラジオ放送受信が可能です。

繰り返しボタンを押すことで表示窓の明るさが調節できます。



スリープタイマー

スリープタイマーはセットした動作時間が過ぎると自動的に電源が切れます。聴きながらおやすみになるときなどにお使いください。

<p>1 スリープモードにする</p>	<p>2 スリープ時間設定モードにする</p>
----------------------------	--------------------------------

3 スリープ時間を設定する

残り時間を確認するには

主な仕様

レシーバー部	
受信周波数	FM/TV (1~3ch): 76.0~108.0 MHz (0.05 MHz刻み) AM: 522~1,629 kHz (9 kHz刻み)
定格出力	30W+30W (6Ω、THD 10% EIAJ)
入力/出力	ライン入力 1系統、光デジタル入力 1系統 ライン出力 1系統、サブウーファー出力(モノラル) 1系統、 ヘッドホン出力(ステレオミニジャック) 1系統
MD部	
サンプリング周波数	44.1 kHz
記録/再生方式	磁界変調オーバーライト方式
CD部	
サンプリング周波数	44.1 kHz
再生方式	非接触光学式
タイマー部	
システム	デジタルクォーツクロック
時計表示	12時間表示
タイマー精度	月差60秒以内
電源部	
電源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	55W(スタンバイモード時: 0.5 W)
スピーカー部	
システム	2ウェイスピーカー防磁形(EIAJ)バスレフ方式
使用スピーカー	低音用: 10cm 1個、高音用: 5cm 1個
インピーダンス	6Ω
	『防磁形(EIAJ)』は(社)日本電子機械工業会(EIAJ)の技術基準に適合したスピーカーシステムです。
大きさ	
AX-M7本体	210(幅)×150(高さ)×327(奥行き)mm
スピーカー	150(幅)×270(高さ)×227(奥行き)mm
重さ	
AX-M7本体	5.5 kg
スピーカー	3.1 kg(1本につき)
付属品	FMアンテナ、AMループアンテナ、リモコン(RB-AXM7)、単3乾電池 2本

仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな?と考える前に

正常に動作しない場合は、下表により点検してみてください。それでも具合が悪い場合は、ご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店にご連絡ください。
なおアフターサービスについては59ページをご覧ください。

	症 状	原因と思われるところ	適切な処置
CD 関係	演奏がはじまらない	1. CDの位置がズレている。 2. CDを表裏逆になっている。 3. 本機が露付き状態になっている。 4. CDにキズ、汚れがある。	1. CDを正しくセットしなおす。 2. レーベル面を上に乗せる。 3. 1～2時間待ってから操作する。 4. 汚れを拭きとってセットする。
	特定の箇所が正しく演奏されない	1. CDに汚れがある。 2. CDにキズが付いている。	1. 汚れを拭きとってセットする。 2. 「▶▶▶▶」ボタンを押し続けてキズのある箇所をとばす。
MD 関係	操作できない	1. 「TOC Reading」または「UTDC Writing」が表示されている。	1. 表示が消えてから操作する。
	録音ができない	1. MDが誤消去防止状態になっている。 2. 再生専用MDに録音しようとしている。 3. デジタルダビングしたソースを再びデジタルダビングしようとしている。	1. 誤消去防止用の穴を閉じる。 2. 録音可能なMDに交換する。 3. デジタルダビングを繰り返すことはできません。
	演奏がはじまらない	1. 本機が露付き状態になっている。 2. MDにキズ、汚れがある。	1. 1～2時間待ってから操作する。 2. MDを交換する。
	特定の箇所が正しく演奏されない	1. MDにキズ、汚れがある。	1. 「▶▶▶▶」ボタンを押し続けてキズ、汚れのある箇所をとばす。
その他	電源が入らない	1. 電源コードがコンセントに確実に接続されていない。	1. 確実に接続する。
	スピーカーから音が出ない	1. 音量調節つまみが最小になっている。 2. ヘッドホンが接続されている。 3. スピーカーコードの接続が不完全。	1. つまみを調節する。 2. ヘッドホンのプラグを抜く。 3. 正しく接続する。
	タイマーが動作しない	1. 現在時刻がセットされていない。 2. 本機の電源が入っている。	1. 現在時刻をセットする。 2. 電源を切る。
リモコン 関係	操作できない、または正常に動作しない	1. 乾電池が正しく挿入されていない。 2. 乾電池が消耗している。 3. リモコンと本体との距離が離れすぎています。 4. リモコンの受光部に強い光(インバーター蛍光灯や直射日光など)が当たっている。	1. 正しく挿入する。 2. 2本とも新しい乾電池に交換する。 3. 本体に近づいて操作する。 4. 受光部に強い光が当たらないようにする。

保証とアフターサービス(必ずお読みください)

■保証について

- この製品は保証書付きです。
保証書は、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げの日から1年間です。
なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。当社は、販売店からの注文により、補修用性能部品を販売店に供給します。

■補修用性能部品の保有期間について

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるときは

本機が正常に動作しないときは、ご自分で修理なさらないで、お買い求めの販売店にご相談ください。

アフターサービスをお申し付けいただくときは、次のことをご知らせください。

- ① 形名：AX-M7
- ② 症状：できるだけ詳しく
- ③ 道順：付近の目印も

■転居されるときは

ご転居により、お買い求めの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

■アフターサービスなどでお困りの場合は

アフターサービスについてご不明の場合、その他お困りの場合は、お買い上げの販売店か別紙(黄色用紙、「ご相談窓口一覧表」)のご相談窓口にお問い合わせください。

